

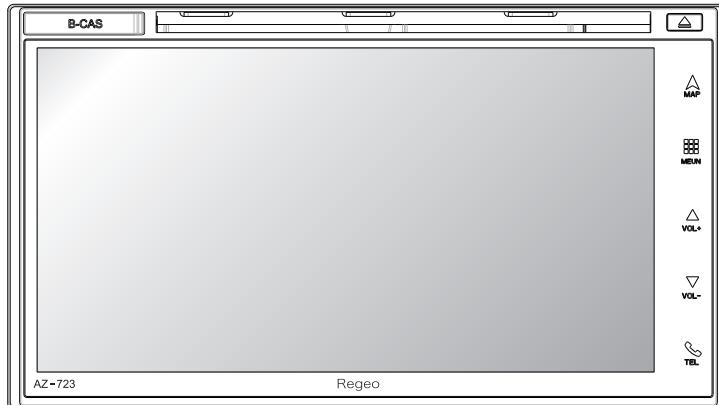
Regeo

フルセグチューナー内蔵7インチメモリーナビゲーション

AZ-723



取扱説明書 ユーザーズマニュアル



保証書別添付

このたびは、フルセグチューナー内蔵7インチメモリーナビゲーションをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取り下さい。

<販売店様>

接続・取り付けが完了しましたら、お客様へ本書をお渡しください。

目次

はじめに

安全上のご注意(必ずお守りください)	1
商品構成一覧表	4
本体各部の働き	6
基本操作	8

操作方法

テレビを見る	12
ラジオを聞く	15
メディアを再生する	17
HDMI	29
VTR	30
AUX	31
Bluetoothを使う	32
画質調整	46
DUAL MAP(2画面)	47
本体設定	48
ボリューム操作	63
SCREEN SHADE	64
メインメニュー・スクロール操作	65
交通情報	66

付属品の使用方法

取り付け・接続について	67
電源・ケーブルの接続方法	69
本体の設置方法	72
HDMIケーブル・プレート取付方法	73
GPS一体型フィルムアンテナ設置方法	75
フィルムアンテナの構成	77
フィルムアンテナの貼り付け位置について	78
GPS一体型フィルムアンテナを貼り付ける	80
アンプホルダーを給電部に貼り付ける	82
フィルムアンテナを貼り付ける	83

その他

トラブルシューティング	85
本機で使用できるメディアとフォーマット	87
その他	90
仕様	91

はじめに

本書について

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面の画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 配線接続の誤り等により、車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類を使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 市販品ケーブル類およびディスク、USBメモリ等の破損について弊社は一切の責任を負いかねます。

取り付けについて

- 車両への取り付けは、必ず本書の「安全上のご注意（必ずお守りください）」、各取り付け説明ページ内容に従って正しく行なってください。
指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合、弊社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、本取扱説明書はお客様へお渡しください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしてはいけない事項
	強制	必ず守るべき事項

警告

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、
火災や発煙・発火、故障の原因になります。
ヒューズの交換や修理は、お買い上げの
販売店または弊社サービスセンターに
ご依頼ください。
(ヒューズ:15A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす
場所には、絶対に取り付けない

運転に支障をきたす場所（シフトレバー、
ハンドル付近など）前方・後方の視界を
妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所へ
の取り付けは、交通事故やけがの原因に
なります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナット
を絶対に使用しない

ステアリングやブレーキなどの保安部品
のボルトやナットを使用して取り付けると、
事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・
表示物を注視しない

行中の操作や表示の注視は、前方不注
意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキ
を引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作
することを確かめる

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、
ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作
しない状態で使用すると、火災や感電、
事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならない
ように配線する

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル
・足などに巻き付かないように引き回し、
まとめたり固定しておく等、配線処理を
してください。事故やけがの原因になり
ます。

⚠ 警告

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12Vマイナスアースの車で使用する

DC12Vマイナスアースの車専用です。
上記以外のお車には使用できません。
火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

付属品の小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

小部品を誤って、飲み込むおそれがあります。
万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。
飲み物などがかからないようにご注意ください。

指示に従って正しく配線、取り付けを行う
絶縁処理をする

取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをしないと火災や事故の原因になります。
また、使用しないコードの先端に被覆のない場合、その部分が車の金属部分に接触しないように、テープなどで絶縁してください。
ショートにより火災や感電の原因になります。

配線、取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子●を外しておく

バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。

機器の通風孔を塞がない

機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

配線、取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

配線、取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。

⚠ 注意

車載用以外には使用しない

 車載用以外(例えばレジヤーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

強い衝撃を与えない

 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

 ショートや断線により、発火や故障の原因になります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できず機器がずれたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けしない

 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けしない

 雨や洗車などで水がかかったり、湿気、ほこり、油煙などが機器内部に入ると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けしない

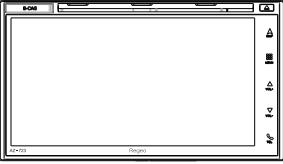
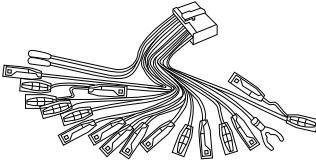
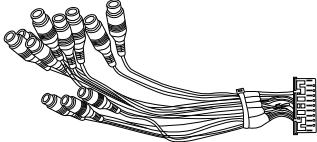
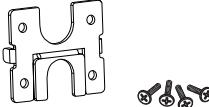
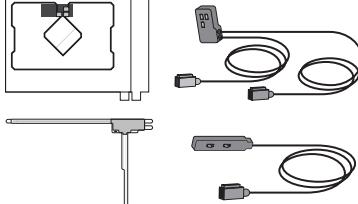
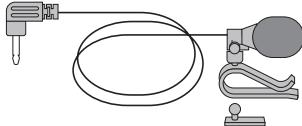
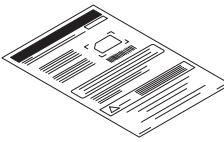
 強い曲面などに取り付けると、走行中に外れたり、落下したりなど、事故やけがの原因になることがあります。

本体背面のヒートシンクに触れない

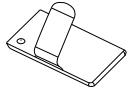
 通電中および電源オフ直後は、本体背面にあるヒートシンク部分が高温になる場合があります。直接触ると火傷、怪我の原因になります。

商品構成一覧表

本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。万が一、足りない場合や破損していた場合は、販売店またはサービスセンターまでご連絡ください。

<p>■ 本体</p> 	<p>■ 電源ケーブル</p> 
<p>■ AVケーブル</p> 	<p>■ HDMIケーブル固定プレート（1枚） 固定プレート用ネジ（4本）</p> 
	<p>※プレートは上下で形状が異なります</p>
<p>■ GPS一体型フィルムアンテナセット</p> 	<p>■ 取り付け用ネジ（8本）</p> 
	<p>※取り付け時には付属用ネジをご使用ください</p>
<p>■ マイク</p> 	<p>■ B-CASカード</p> 

商品構成一覧表（つづき）

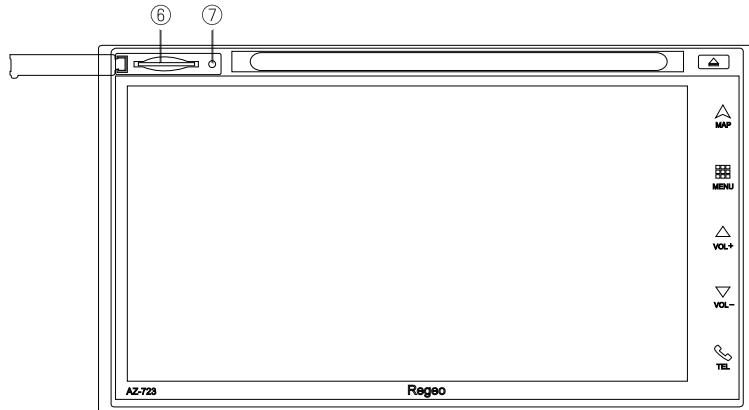
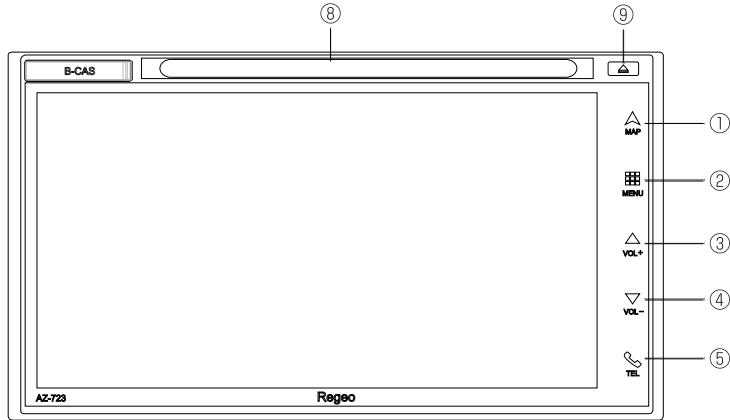
<p>■ フィルムアンテナ用クランパー（8個）</p> 	<p>■ 配線クランパー（8個）</p> 
<p>■ 取扱説明書</p> 	<p>■ ナビゲーション取扱説明書</p> 
<p>■ 保証書</p> 	

△ 注意

- USBケーブルは、本体に直接装着されています（ケーブルの取り外し不可）。
- USBケーブルは、USBメディア用/充電用となります。
- USBメディアは付属されていません。
- USBメディア用ケーブルは、USBカードリーダーを介した接続はできません。
- HDMIケーブルやVTRソース、AUXソースで使用する外部機器接続ケーブルは付属されていません。
- バックカメラやリヤモニターは付属されていません（別売品となります）。

本体各部の働き

本機のボタン操作（働き）について説明します。



本体各部の働き

名称		働き
①	MAP	地図画面以外時=ナビ画面に切り替えます ※DUAL MAP画面中は無効
②	MENU	メインメニュー画面に切り替えます ※長押しすると、SCREEN SHADE画面に切り替えます
③	VOLUME +	音量が1ステップ上がります
④	VOLUME -	音量が1ステップ下がります ※長押しすると、AVソース音量をMUTEします
⑤	TEL (Bluetooth)	[発着信および通話中に他の画面を表示している場合] 発着信もしくは通話中画面に切り替えます [地図画面およびAV画面中(発着信・通話中以外)] Bluetooth機器登録・消去画面またはダイヤルパッド画面に切り替えます
⑥	mini B-CAS カード挿入口	mini B-CAS カードを差し込みます ※B-CAS カードが挿入されていないと、フルセグ視聴ができません
⑦	リセットボタン	本体を再起動します
⑧	DISC スロット	ディスク(DVD/CD)の挿入口です
⑨	イジェクト	ボタンを押下すると、ディスクが排出されます

基本操作

電源のオン/オフ

電源を入れる

イグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、電源がONになります。エンジンをかけると、本体が起動してオープニング画面が表示されたあと、自動的にメインメニュー画面や地図画面などが表示されます。

電源を切る

イグニッションキーを「OFF」にすると、自動的に電源がOFFとなります。

△注意

- 音量が大きい状態でエンジンOFFすると、次回エンジンONした場合、大音量で再生されるため、エンジンをOFFする場合やソースを切り換える場合は、音量を下げるから行ってください。
- 再生音が大きいと、起動時やソースチェンジの際、運転の妨げや聴覚障害などの原因となることがあります。

基本操作（つづき）

メインメニュー

■ メインメニュー画面での操作

メインメニュー画面は、本機を使用するためのアクセス画面となります。本体[MENU]キーを押下すると、以下のメインメニュー画面に切り替わります。メインメニュー画面から各AVソースやナビ画面、設定画面に切り替えることができます。

▼メインメニュー画面（AVソースON中）



▼メインメニュー画面（AVソースOFF中）



△注意

- ナビメニューの操作については、ナビ画面上のメニューから行うことができます。

※詳細は、ナビゲーション取扱説明書を参照してください

- ソース選択時にソースの音声が一瞬途切れる場合がありますが、故障ではありません。

基本操作（つづき）

ナビゲーション

ナビ画面に切り替えます。



DTV

地デジ/ワンセグ放送を視聴できます。



CD/DVD

挿入されているディスク（DVDやCDなど）を再生できます。



ラジオ

ラジオが聴けます。



USB

USBメモリに保存されている音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。

※デバイスが接続されていない場合や、非対応デバイスの場合、アイコンがアクティブになりません



Bluetoothオーディオ

Bluetooth機器内の音楽ファイルを再生できます。



基本操作（つづき）

HDMI

HDMI機器の映像や音声を視聴できます。
※HDMI入力信号がない場合、「映像が入力されていません」と表示されます。
※接続端子：Type-D（Micro HDMI端子）



VTR

VTR機器の映像や音声を視聴できます。
外部入力に接続されている映像や音声を出力します。
ビデオ映像の入力信号がない場合、「映像が入力されていません」と表示されます。



AUX

AUX機器の音声を再生できます。
※AUXソースは音声出力のみとなります



ソースOFFについて

AVソースON中に、メインメニュー画面のAVソース名をタッチすると、現在表示中（再生中）のAVソースがOFFとなります。

AVソース名をタッチ



AVソースON中

AVソースOFF表示



AVソースOFF

テレビを見る

地デジ/ワンセグソース

メインメニューの「DTV」アイコンをタッチすると、地デジ・ワンセグ画面が表示されます。

△注意

- mini B-CASカードが挿入されていない場合は、フルセグが視聴できません。
- ご使用中は、mini B-CASカードを抜き差ししないでください。
- mini B-CASカードを挿入する際は、スロットに突き当たるまで奥に差し込んでください。
- mini B-CASカードを出す時は、一旦押し込んでから、つまんで引き出してください。
- はじめてご使用になる場合や初期化後は、必ず「SCAN（スキャン）」を行ってください。

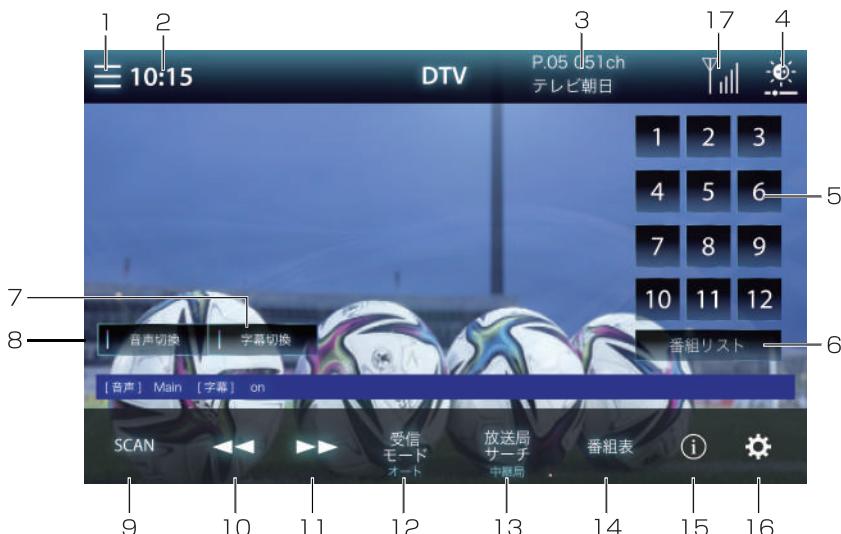
操作パネルについて

操作をしない状態が数秒経過すると、画面上のタッチキーが非表示となります。
タッチキーを表示させたい場合は、再度、画面をタッチします。

走行規制について

走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。
パーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

基本画面



テレビを見る（つづき）

	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	受信チャンネル	現在の視聴放送局名を表示します
4	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替わります
5	チャンネルボタン	SCAN 後にプリセットされる放送局をワンタッチで切り替えます（未受信の場合、選択できません）
6	番組リストボタン	プリセットされている放送局リスト画面を表示します
7	字幕切換ボタン	視聴番組に複数の字幕がある場合、字幕切り替えを行います ※番組依存となるため、切り替わらない場合があります
8	音声切換ボタン	視聴番組に複数の音声がある場合、音声切り替えを行います ※番組依存となるため、切り替わらない場合があります
9	SCAN ボタン	受信可能な放送局を検索し、受信できる放送局をプリセットボタンに登録します
10/11	CH UP/DOWN ボタン	プリセットチャンネルのマニュアルアップ / ダウンを行います
12	受信モードボタン	オート / フルセグ（12seg）固定 / ワンセグ（1seg）固定に切り替えます
13	放送局サーチボタン	受信レベルが低下して番組が視聴できなくなった場合、自動的に受信可能な中継局を探して切り替えることができます（受信可能な放送局がある場合に限る）
14	番組表ボタン	番組表を表示します
15	情報ボタン	DTV 情報画面を表示します
16	DTV 初期化ボタン	DTV ソースの設定を初期化します
17	受信電波アイコン	受信電波のレベルを表示します

△注意

- SCANは環境やエリアによって、数分間かかる場合があります。
- SCANを行った後、受信ができない場合は、自車位置を別の場所に移動してから再SCANを行ってください。
- 特にビル群や山間部、高架下、遮蔽物がある等の環境下では受信しにくくなります。
- 受信できない放送局のチャンネルボタンをタップしても切り替わらない場合があります。
- 受信モードが「オート」の場合、受信感度により、フルセグとワンセグに自動的に切り替わりますが、切り替わりのタイミングで映像や音声が途切れる場合があります。
- 受信感度が低下した際、映像にブロックノイズが発生する場合があります。
- 番組の情報取得ができない場合、番組表が表示できない（空欄）になる場合があります。
- 受信ができない場合、アンテナの位置やアンテナケーブルの取り回しを確認してください。

□メモ

- ・放送局サーチの設定値を「中継局」に設定しておくことで、受信状態の良い中継局に自動的に切り替えることができます。
- ・受信モードで「オート」を選択している場合、環境等の受信状況によって、頻繁にフルセグとワンセグに切り替わる場合があります。安定的な視聴をするために「ワンセグ」設定にしてください。

テレビを見る（つづき）

リスト画面



操作方法
テレビを見る

	ボタン	説明
1	戻るボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	放送局 CH 番号	放送局のチャンネル番号を表示します
4	放送局名	放送局名を表示します
5	スクロールバー	現在のリスト位置を表示します
6	ページトップ / エンドボタン	リストページを切り替えます
7	リスト	選択された放送局に切り替えます リスト画面を上下にスワイプ操作すると、リストページが切り替わります

△注意

- リストページ表示またはリストページをスクロールした際、リストの読み込みに時間がかかる場合があります。
- SCAN後に登録できないチャンネルはリスト表示されません。

□メモ

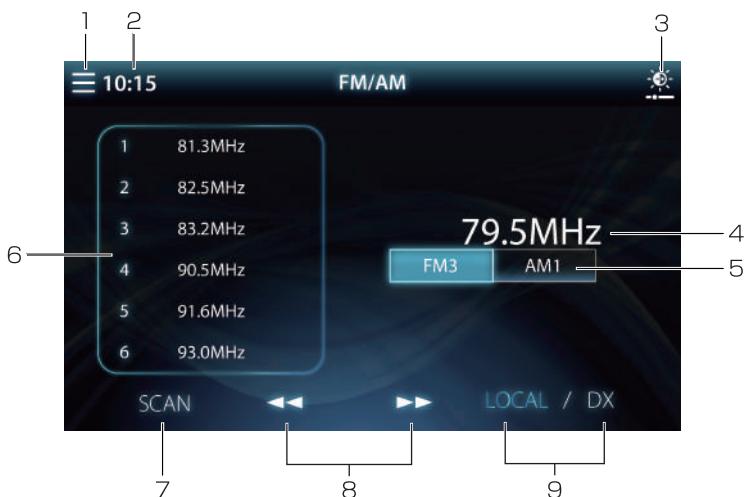
- ・「受信モード」が[フルセグ]の場合、リストはフルセグのみを表示します。[ワンセグ]の場合、リストはワンセグリストのみを表示します。

ラジオを聞く

ラジオソース

メインメニュー画面の「FM/AM」をタッチすると、ラジオを聞くことができます。

基本画面



	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替わります
4	周波数表示	現在の周波数を表示します
5	バンド切替ボタン	[FM] をタッチするたびに、FM1/2/3 とバンドが切り替わります [AM] をタッチするたびに、AM1/2 とバンドが切り替わります

ラジオを聴く（つづき）

	ボタン	説明
6	プリセットチャンネル	<ul style="list-style-type: none"> SCAN 実行後、受信可能な放送局をプリセットします リストを長押しすることで、現在の放送局を手動でプリセットメモリすることができます プリセットボタン内を上下にスワイプ操作することでプリセット 1~12 まで表示することができます
7	SCAN	受信可能な放送局を検索し、受信できる放送局をプリセットチャンネルに登録します
8	SEEK ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 短押し：周波数を UP/DOWN します 長押し：現在の受信中の周波数から一番近い受信可能な放送局を探します
9	LOCAL/DX ボタン	<ul style="list-style-type: none"> LOCAL : SCAN する際、ノイズの少ない信号の強いチャンネルをプリセットします DX : SCAN する際、取得可能なチャンネルを探します（ノイズが多いチャンネルも取得します）

メモ

- SCANは、受信感度の良い放送局を順番にプリセットチャンネルに登録するため、プリセットチャンネル（1~12）に登録されない場合があります。

メディアを再生する

DVDソース

DVDが挿入されている状態でメインメニュー画面の「DISC」アイコンをタッチすると、DVDを視聴することができます。

コントロールパネルについて

操作をしない状態が数秒経過すると、コントロールパネルが非表示となります。コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。

走行規制について

走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。
パーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

ディスクローディングについて

ディスクを挿入し、ディスクソースを選択すると、ディスクローディング画面が表示されます。また、ディスクの判別をするために、再生するまでに時間がかかる場合やディスクローディング画面が繰り返し表示される場合があります。

基本画面



メディアを再生する（つづき）

	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	チャプター	チャプターファン号を表示します
4	タイトル	タイトル番号を表示します
5	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替わります
6	アングル切替ボタン	アングルを切り替えます ※アングル切替機能を持つディスク依存となります
7	スロー再生ボタン	スロー再生を行います ※ディスクや再生位置により、操作できない場合があります ※ディスクにより、スロー再生中、映像が乱れる場合があります
8	コマ送りボタン	再生中の映像を1コマずつ止めながら再生します
9	字幕切替ボタン	字幕言語が複数収録されたディスクの場合、再生中に字幕言語を切り替えることができます ※ディスク依存となります
10	音声切替ボタン	音声言語が複数収録されたディスクの場合、再生中に音声言語を切り替えることができます ※ディスク依存となります
11 12	TITLE UP/DOWN ボタン	ディスクに収録されているタイトルのアップ / ダウンを行います
13	プログレスバー	プログレスバー（再生時間と現在選択されているチャプターの総時間）を表示します ※プログレスバーの操作はできません
14	PLAY/PAUSE ボタン	・再生中：一時停止（PAUSE）を行います ・一時停止中：再生（PLAY）を行います

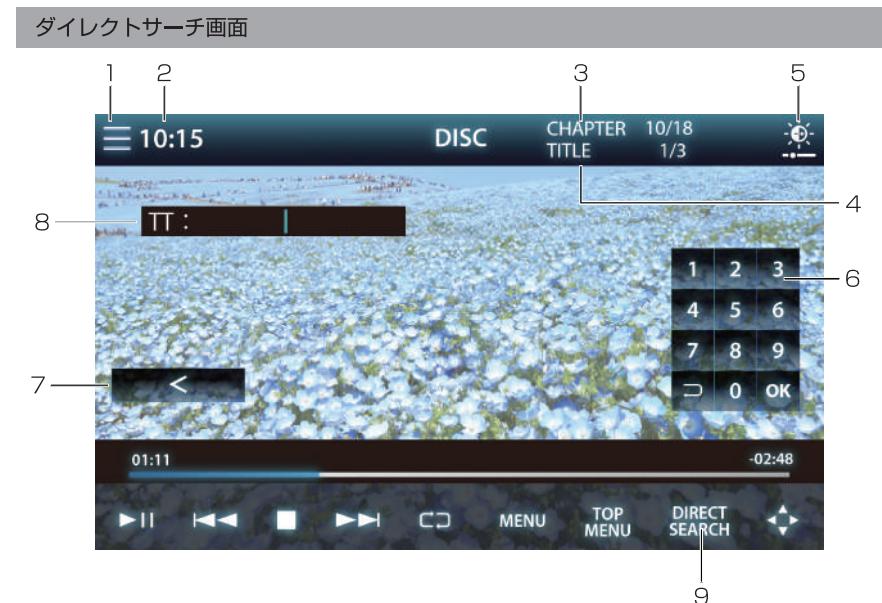
メディアを再生する（つづき）

	ボタン	説明
15	UP/DOWN ボタン	短押し：チャプターやタイトルをアップ / ダウンします 長押し：早送り／早戻しします ※ディスクによっては操作できない場合があります
16	STOP ボタン	再生を停止します
17	リピートボタン	再生範囲を切り替えます ※ALL/OFF/CHAPTER/TITLE
18	メニュー ボタン	ディスクメニューを表示します ※ディスクメニューは、ディスクに予め記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法はディスクによって異なる場合があります
19	トップメニュー ボタン	ディスクのトップメニューを表示します ※トップメニューは、ディスクに予め記録されているメニューのことで、表示されるメニューと操作方法はディスクによって異なる場合があります
20	ダイレクトサーチ	チャプターやタイトル、時間を指定して再生します
21	クロスキー	ダイレクトタッチ操作画面が収録されたディスクの場合、クロスキーでメニュー操作をします

△注意

- ディスクによって、映像や字幕、音声切り替えなど、ディスク依存の機能の場合、正しく機能が動作しない場合があります。
- CPRMディスクの場合、読み込みに時間がかかる場合があります。
- CPRMディスクの場合、リピート切り替えができない場合があります。
- CPRMディスクの場合、終端のチャプターから先頭のチャプター（タイトル）に切り替えることができない場合があります。
- スロー再生やコマ送りの戻り方向の再生はできません。
- リピート再生中、リピートの再生範囲を超える操作（チャプターリピート中にチャプターアップなど）を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- ディスクにより、ディスクメニューが表示され、自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニュー操作を行い、再生してください。
- ディスクにより、メニュー操作やディスクメニュー操作ができない場合があります。
- 字幕切替や音声切替など、ディスクにより、収録されているディスクメニューでしか切り替えができない場合があります。
- ディスクの再生位置により、禁止マークが表示され、操作ができない場合があります。
- ディスク収録のメニュー画面を表示した際、直接画面をタッチしてメニュー操作（ダイレクトタッチ操作）ができます。ただし、ディスク依存のため、ダイレクトタッチで操作ができない場合があります。その場合は、クロスキーを表示させ、メニュー操作を行ってください。
- ディスクにより、プログレスバーに表示される再生時間やチャプター総時間は、実際に再生している時間と誤差が生じる場合があります。
- ディスクにより、タイトル番号やチャプターファイルの表示が正しく表示できない場合があります。
- チャプターやタイトルの情報がないディスクの場合、チャプターアップ/ダウンやタイトルアップ/ダウン機能が動作しない場合があります。その場合、メニュー等から操作を行なってください。
- PAUSE中にアップ/ダウン操作やFF/REV操作した場合、ディスクにより、期待した動作にならない場合があります。
- 読み込めないディスクが挿入された場合、自動的にディスクが排出される場合があります。
- ディスクの出し入れを繰り返し頻繁に行なった場合、正常に読み込めなくなる場合があります。

メディアを再生する（つづき）



操作方法

メディアを再生する

	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	チャプター	チャプター番号を表示します
4	タイトル	タイトル番号を表示します
5	画質調整 ボタン	画質調整画面に切り替わります
6	テンキー	テンキーをタッチして任意の数字を入力し、決定する場合は OK をタッチします
7	戻る ボタン	基本画面に戻ります
8	種別 入力表示	カテゴリー種別（タイトル / チャプター / 時間）を表示します
9	ダイレクトサーチ	ボタンをタッチするたびに、タイトル / チャプター / 時間のカテゴリー種別を切り替えます

△ 注意

- ディスクによっては、ダイレクトサーチ機能が動作しない場合があります。
- チャプターやタイトルの情報がないディスクの場合、チャプターサーチやタイトルサーチ機能が動作しない場合があります。

メディアを再生する（つづき）

CDソース

音楽CD（CD-DA）のディスクが挿入されている場合、CDを再生することができます。

ディスクローディングについて

ディスクを挿入し、DISCソースを選択すると、ディスクローディング画面が表示されます。また、ディスクの判別をするために、再生するまでに時間がかかる場合があります。

基本画面



	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	トラック番号	現在再生しているトラック番号とディスクの総トラック数を表示します
4	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替わります
5	情報表示	トラック名 / アーティスト名 / アルバム名を表示します ※トラック名以外は、「Unknown」表示となります ※ディスクによっては、空欄になる場合があります

メディアを再生する（つづき）

	ボタン	説明
6	プログレスバー	プログレスバー（再生時間、総時間）を表示します ※プログレスバーの操作はできません
7	再生 /PAUSE ボタン	・再生中：一時停止（PAUSE）を行います ・一時停止中：再生（PLAY）を行います
8	トラック UP/DOWN	・短押し：ファイルをアップ／ダウンします ・長押し：早送り／早戻しします
9	リピートボタン	DISC/TRACK/OFF の再生範囲を切り替えます
10	ランダムボタン	ランダム再生を ON/OFF します
11	リストボタン	リスト画面を表示します

△注意

- CD-TEXTの場合、テキスト表示しません。
- 8cmCDは再生できませんので、挿入しないでください。故障の原因となります。
- ディスクによっては、プログレスバーに表示される再生時間や総時間は、実際に再生している時間と誤差が生じる場合があります。
- リピート再生中、リピートの再生範囲を超える操作（トラックリピート中にトラックアップなど）を行うと、リピートの範囲が変更されることがあります。
- PAUSE中にUP/DOWNやFF/REVした場合、ディスクによっては期待した動作にならない場合があります。

メディアを再生する（つづき）

リスト画面



ボタン	説明
1 戻るボタン	一つ前の画面に切り替えます
2 時計表示	時計を表示します
3 リスト	<ul style="list-style-type: none">・ トラックリストをタッチすると選択されたトラックを再生します・ リスト画面を上下にスワイプ操作すると、リストページが切り替わります
4 トラック名	Track 番号を表示します
5 スクロールバー	リストをタッチしながらスワイプ操作をすると、ページ位置を表すスクロールバーを表示します

メディアを再生する（つづき）

CD-ROM/DVD-ROM/USB (MUSIC) ソース

CD-ROMやDVD-ROM、USBメモリ内に音楽ファイルが保存されている場合、ディスクソースやUSBソースを選択すると、音楽ファイルを再生することができます。

ディスクおよびデバイス判別について

ディスクまたはUSBを挿入し、各ソースを選択すると、デバイス内のファイルを読み込むため、「LOADING」または「DEVICECONNECTED」画面が表示される場合があります。
※ディスクまたはデバイスの判別をするために、再生するまでに時間がかかる場合があります。
※USBメモリを本機に接続しても、自動的にUSBソースには切り替わりません

基本画面

| USB (MUSIC) の場合



| CD-ROM/DVD-ROMの場合



	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	FOLDER	現在選択再生されているフォルダのディレクトリ フォルダ番号と総フォルダ数を表示します
4	FILE	現在再生しているファイルのディレクトリ ファイル番号と総ファイル数を表示します
5	画質調整 ボタン	画質調整画面に切り替わります

メディアを再生する（つづき）

CD-ROM/DVD-ROM/USB-MUSICソース

	ボタン	説明
6	メディア切替ボタン	USB メモリに音楽ファイルと映像ファイルが混在している場合、再生するデータを切り替えることができます ※メディアがディスクの場合、混在は非対応となります ・MUSIC：音楽再生のリスト画面に切り替えます ・VIDEO：映像再生のリスト画面に切り替えます
7	情報表示	ファイル名 / アーティスト名 / アルバム名を表示します ※タグ情報がない場合は、「Unknown」表示または空欄となります
8	プログレスバー	プログレスバー（再生時間、総時間）を表示します ※プログレスバーをドラッグ操作すると任意の分秒にジャンプすることができます（USBのみ）
9	再生 /PAUSE ボタン	・再生：一時停止を行います ・一時停止中：再生を行います
10	ファイル UP/DOWN	・短押し：ファイルをアップ／ダウンします ・長押し：早送り／早戻しします
11	リピートボタン	以下のように再生範囲を切り替えます ・ディスクの場合：ALL/OFF/FILE ・USB の場合：ALL/FILE/FOLDER ※ランダム設定を ON にすると、リピート再生範囲が以下のように切り替わります - ディスクソースの場合：「OFF」 - USB ソースの場合：「ALL」
12	ランダムボタン	ランダム再生を ON/OFF します
13	フォルダ UP/DOWN	フォルダをアップ／ダウンします（USBのみ）
14	リストボタン	リスト画面を表示します（CD-ROM/DVD-ROMのみ）

△注意

- ディスクやメモリによっては、プログレスバーに表示される再生時間や総時間は、実際に再生している時間と誤差が生じる場合があります。
- ディスク（書き込み方式）によっては、正常にファイル UP/DOWN 等の機能が正常に動作しない場合があります。
- リピート再生中、リピートの再生範囲を超える操作（ファイルリピート中にフォルダアップなど）を行なうと、リピートの範囲が変更されることがあります。
- ディスクやファイルによっては、表示内容が正しく表示されない場合があります。
- USB-MUSIC ソース時、再生できないファイルが混在していると、再生できないファイルは SKIP されます。
- USB-MUSIC ソース時、全てのファイルが再生できない場合、SKIP 動作後に停止されます。
- 再生できないファイル（拡張子）が混在していると、正しく動作しなかったり、予期せぬ動作になる場合があります。
- PAUSE 中に UP/DOWN や FF/REV した場合、ディスクによっては期待した動作にならない場合があります。
- 読み込めないディスクが挿入された場合、自動的にディスクが排出される場合があります。
- 傷のついたディスクや対応していないディスクによっては、正常に読み込めなくなる場合があります。その場合は、再度ディスクの入れ直しまたは電源を入れ直してください。

メディアを再生する（つづき）

USB-VIDEOソース

USBメモリ内に映像ファイルが保存されている場合、USBソースを選択すると、映像ファイルを再生することができます。

コントロールパネルについて

操作をしない状態が数秒経過すると、コントロールパネルが非表示となります。
コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。

走行規制について

走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。
パーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

デバイス判別について

USBメモリを挿入し、USBソースを選択すると、デバイス内のファイルを読み込むため、「DEVICE CONNECTED」画面が表示される場合があります。
※デバイス内のファイルを判別をするために、再生するまでに時間がかかる場合があります
※USBメモリを本機に接続しても、自動的にUSBソースには切り替わりません

基本画面



メディアを再生する（つづき）

ボタン	説明
1 メニュー ボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2 時計表示	時計を表示します
3 FOLDER	現在再生しているファイルのディレクトリ フォルダ番号と総フォルダ数を表示します
4 FILE	現在再生しているファイルのディレクトリ ファイル番号と総ファイル数を表示します
5 画質調整 ボタン	画質調整画面に切り替わります
6 メディア切替 ボタン	USBメモリに音楽ファイルと映像ファイルが混在している場合、再生するデータを切り替えることができます ・MUSIC：音楽再生のリスト画面に切り替えます ・VIDEO：映像再生のリスト画面に切り替えます
7 情報表示	ファイル名 / アーティスト名 / フォルダ名を表示します ※ファイル名以外は「Unknown」表示または空欄となります
8 プログレスバー	プログレスバー（再生時間、総時間）を表示します ※ディスクソース時のプログレスバーの操作はできません
9 再生 /PAUSE ボタン	・再生中：一時停止を行います ・一時停止中：再生を行います
10 ファイル UP/DOWN	・短押し：ファイルをアップ／ダウンします ・長押し：早送り／早戻しします
11 リピート ボタン	ALL/FILE/FOLDERの再生範囲を切り替えます ※ランダム設定をONにすると、リピート再生範囲が「ALL」に切り替わります
12 ランダム ボタン	ランダム再生をON/OFFします
13 フォルダ UP/DOWN	フォルダをアップ／ダウンします

△注意

- メモリによっては、プログレスバーに表示される再生時間や総時間は、実際に再生している時間と誤差が生じる場合があります。
- リピート再生中、リピートの再生範囲を超える操作（ファイルリピート中にフォルダアップなど）を行うと、リピートの範囲が変更されることがあります。
- USB-VIDEOソース時、再生できないファイルが混在していると、再生できないファイルはSKIPされます。
- USB-VIDEOソース時、全てのファイルが再生できない場合、SKIP動作後に停止されます。
- 再生できないファイルが混在していると、正しく動作しない場合があります。
- PAUSE中にUP/DOWNやFF/REVした場合、ファイルによっては期待した動作にならない場合があります。

メディアを再生する（つづき）

CD-ROM/DVD-ROM/USB-MUSIC/USB-VIDEOソース

リスト画面（MUSIC、VIDEO共通）



	ボタン	説明
1	戻るボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	リストトップボタン	リスト画面をルートディレクトリに戻します（USBのみ）
4	リスト戻しボタン	リストを一つ前に戻します（USBのみ）
5	リスト	<ul style="list-style-type: none"> リストをタッチすると選択されたトラック（ファイル）を選択（再生）します リスト画面を上下にスワイプ操作すると、リストページが切り替わります
6	フォルダ / ファイル名	フォルダ名またはファイル名を表示します
7	スクロールバー	リストをタッチしながらスワイプ操作をすると、ページ位置を表すスクロールバーを表示します（USBのみ）
8	ページトップ / エンドボタン	先頭または最終ページに切り替えます（USBのみ）

△注意

- 音楽ファイルと映像ファイルが混在している場合、リスト画面に表示されるのは、現在選択されているメディアモード（MUSICまたはVIDEO）のフォルダ名とファイル名となります。
- 各ボタンはソースによって、表示する場合と表示されない場合があります。
- ソースによって、リストページもしくはリスト切り替え動作が異なります。
- ソースによって、現在選択されているリストのハイライト表示が異なります。
- リストの読み込み（リスト表示や切り替え）に時間がかかる場合があります。
- ファイル数の多いディスクの場合、現在再生しているファイル以外のリストページを表示している場合やリストの読み込み（切り替え）中にファイル再生の切り替えが発生すると、ファイルの先頭が頭切れして再生する場合があります。

HDMI

HDMIソース

HDMIケーブルで接続された外部機器で映像や音声を再生し、本機のディスプレイで視聴することができます。

△注意

- 本機とHDMI機器を接続するには、HDMIケーブル（Type-D端子）が必要となります。
- 本機からの出力音量が小さい場合は、外部機器側の音量を確認してください。
- 全ての外部機器に対応しているわけではありませんので、映像表示できない場合があります。
- HDMI機器を接続または切断した際、電気的なノイズが生じる場合がありますが、故障ではありません。

コントロールパネルについて

操作をしない状態が数秒経過すると、コントロールパネルが非表示となります（映像入力時）。コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。

走行規制について

走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。
パーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

基本画面



	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	画質調整 ボタン	画質調整画面に切り替わります

△注意

- 外部機器が接続されていない場合、「映像が入力されていません」と表示されます。
- 外部接続してから映像表示まで数秒間のタイムラグが生じます。
- スマートフォンが本機または別の機器とBluetooth接続されている場合、HDMIソースの音声が出力されない場合があります。その場合、Bluetooth接続を解除するか、HDMIケーブルの抜き差しをしてください。

VTR

VTRソース

外部映像機器（ポータブルプレイヤー）などを接続して、視聴することができます。

△ 注意

- 本機と外部機器を接続するには、AV入力用ケーブルが必要となります（RCA接続ケーブル）。
- 本機からの出力音量が小さい場合は、外部機器側の音量を確認してください。
- 外部機器の音量を上げた場合、ノイズが生じる可能性があります。
- VTR機器を接続または切断した際、電気的なノイズが生じる場合がありますが、故障ではありません。
- 全ての外部機器に対応しているわけではありませんので、映像表示できない場合があります。

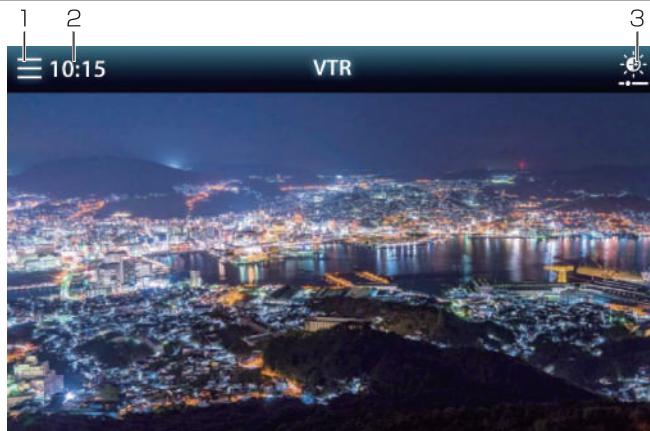
コントロールパネルについて

操作をしない状態が数秒経過すると、コントロールパネルが非表示となります（映像入力時）。コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。

走行規制について

走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。
パーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

基本画面



	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	画質調整 ボタン	画質調整画面に切り替わります

△ 注意

- スマートフォンの映像を表示するための各種RCA変換ケーブルをご使用される際、スマートフォンが本機または別の機器とBluetooth接続されている場合は、音声が出力されない場合があります。その場合、Bluetooth接続を解除してください。
- 接続を解除しても映像出力できない場合、本機では使用できない可能性があります。
※詳しくは、お使いのスマートフォンまたは変換ケーブルの各メーカーへお問合せください

AUX

AUXソース

外部音声機器（ポータブルプレイヤー）などを接続して、音声出力することができます。

△ 注意

- 本機と外部音声機器を接続するには、AUX入力用ケーブルが必要となります（φ3.5ミニジャック）。
- 本機からの出力音量が小さい場合は、外部機器側の音量を確認してください。
- 外部機器を接続または切断した際、電気的なノイズが生じる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部機器の音量を上げた場合、ノイズが生じる可能性があります。また、外部機器を充電しながら音声出力すると、ノイズが生じる場合があります。これは、外部機器によるもので、故障ではありません。

基本画面



	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	画質調整 ボタン	画質調整画面に切り替わります

Bluetoothを使う

Bluetoothデバイスについて

Bluetooth対応の機器を接続することで、Bluetoothオーディオやハンズフリー通話などを行うことができます。

△注意

- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周囲の安全を十分に確認した上、通話は手短に済ませてください。
- 走行中の通話操作やBluetooth機器設定は危険ですので、おやめください。
- 携帯電話接続ケーブルやUSBケーブルなどを使っての接続はできませんので、ご注意ください。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により本機との接続や動作に制限がある場合があります。
- Bluetooth機器（携帯電話機）の操作方法については、各メーカーへお問い合わせください。
- 本機とBluetooth機器（携帯電話機）の互換性については、保証しかねます。
- Bluetooth機器側のバージョンにより、接続ができない場合があります。
- Bluetoothオーディオを使用される場合も、あらかじめ本機に機器登録をする必要があります。
- 携帯電話機端末やOSのバージョン等により、各画面の表示や機能、操作等が異なる場合があります。

Bluetoothについて

- Bluetoothとは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用してBluetooth 対応機器を通して通信できます。

本機では、Bluetooth に対応する携帯電話及びオーディオ機器を接続して利用できます。
利用するには本機に機器を登録（ペアリング）する必要があります。

ハンズフリー通話

- 本機は、ハンズフリー通話ができますが、電話回線状況、使用する携帯電話機、通話相手の環境等により、エコー（残響音）が発生する場合があります。
- エコーを軽減するには、携帯電話本体の音量調整や本機の通話ボリュームの調整を行なってください。※完全にエコーを消すことはできません

データ通信について

- データ通信とハンズフリー通話が同時に使用ができる機種では、Bluetoothを使用したデータ通信時に着信があった場合、機種によっては、データ通信を終了する場合があります。

発着信・通話について

- 携帯電話機のボタンを押して通話や発信することができますが、携帯電話の機種により、ハンズフリーができない場合があります。
- AVソースのBluetoothオーディオ使用中に発着信すると、Bluetoothオーディオの再生が一時中断されます。
- 携帯電話によって、着信と通話（発信）音量が個別に調整できない場合があります。
- 携帯電話の機種により、着信中や発信（通話）中に表示される電話番号は、国際識別番号で表示される場合があります。

通話・音楽アプリについて

- 無料通話アプリや携帯電話専用の音楽アプリを使用した場合については、動作保証外となります。また、アプリのバージョンアップに伴い、従来機能していたものが、機能しなくなる場合があります。
- 無料通話アプリや携帯電話専用の音楽アプリを使用された場合、期待した動作にならない場合があります。これは、本機の故障ではなく、アプリ依存によるものとなります。

Bluetoothを使う

Bluetoothデバイス登録

Bluetooth機器を使う場合、あらかじめ本機にBluetooth機器を登録（ペアリング）する必要があります。

以下の手順に従って、Bluetooth機器の登録を行ってください。

△注意

- 登録できるBluetooth機器は、最大2台までとなります。
- すでに2台が登録済みの場合、登録されているBluetooth機器を消去して、新規登録をしてください。

手順1)

セッティングメニュー画面から「Bluetooth設定」を選択します。

※本体の[TEL]ボタンを押下することで本画面へ遷移することもできます

手順2)

「Bluetooth機器登録・消去」を選択します。

手順3)

本機と接続したいBluetoothデバイスのBluetooth設定を[ON]にします。

手順4)

●本機から周辺のBluetooth機器を検索する場合

→「サーチ」ボタンをタッチして、Bluetooth機器を周辺検索します。

●Bluetooth機器側から検索する場合

→Bluetooth機器側に表示される機器名称は「REGEZO AZ-723」となります。



△注意

- Bluetooth機器を検索する場合、携帯電話側のBluetooth設定画面を表示させた状態で行ってください。

手順5)

●本機から周辺のBluetooth機器を検索した場合

周辺のBluetooth対応機器を検索し、「ペアリング可能デバイス」にリスト表示されます。接続したいデバイス名をタッチします。

●Bluetooth機器側から検索した場合

接続準備が整うと、Bluetooth機器側に「REGEZO AZ-723」と表示されます。

Bluetoothを使う

手順6)

- 本機から周辺のBluetooth機器を検索した場合
画面の指示に従い、ペアリングコード入力を行なってください。
- Bluetooth機器側から検索した場合
デバイス側の指示に従い、ペアリングコード入力を行なってください。

手順7)

ペアリングが成功すると、機器が登録されます。

△注意

- 本機と Bluetooth 機器の接続可能距離は約 10m となります。Bluetooth 機器が本機と離れてしまうと、音声等が正しく出力されなくなります。完全に接続範囲外となった場合、ペアリングが解除されます。
- 接続範囲外になった場合、再度ペアリングを行なってください。
- 接続する Bluetooth 機器により、接続方法が異なる場合があります。
- Bluetooth 機器側からの検索やペアリングが正しく行われない場合は、本機からの検索を試してください。
- 周辺の Bluetooth 機器を検索する場合は、携帯電話側の Bluetooth 設定画面を表示させないと接続画面が表示されない場合があります（機器依存）。
- Bluetooth 機器を検索する場合、機器や環境等により、検索に時間がかかる場合があります。
- ペアリングが完了されると、登録する Bluetooth 機器に接続プロファイルを設定し、何の機能に使用する機器であるかを自動的に判別します。
- 周辺検索はある一定の時間が経過すると、検索を中止します。その場合、再度検索を行なってください。
- 電話帳・通話履歴表示は、接続されている Bluetooth 携帯電話と同期を行う必要があります。
- 本機と携帯電話がペアリングされ、同期を許可すると自動的に通話履歴を同期します。

△メモ

- ・Bluetooth機器を2台登録することが可能です。
※ただし、Bluetooth機器を2台同時に使用することはできませんので、必要に応じて、1台ずつ切り替え使用してください
- ・Bluetooth機器検索時にリスト表示される最大台数は5台までとなります。

Bluetoothを使う

Bluetoothデバイス登録解除

手順1)

セッティングメニュー画面から「Bluetooth設定」を選択します。

手順2)

「Bluetooth機器登録・消去」を選択します。

手順3)

本機と接続したいBluetooth機器のBluetooth設定を[ON]にします。

手順4)

●本機から登録解除する場合

→「登録解除」ボタンをタッチして、Bluetooth機器の登録を解除します。

●Bluetooth機器側から登録解除する場合

→Bluetooth機器側の削除方法に従って登録を解除してください。



Bluetoothを使う

Bluetoothデバイスのペアリング・ペアリング解除

Bluetooth機器が登録済み状態で、登録されている各Bluetooth機器のペアリング（接続）や接続解除をする場合は以下の手順に従って、ペアリング、ペアリング解除を行ってください。

接続方法

手順1)

「Bluetooth機器登録・消去」画面の[ペアリングボタン]をタッチします。

手順2)

ペアリング（接続）が解除されると、ペアリングボタンが[OFF]状態となります。



接続解除方法

手順1)

「Bluetooth機器登録・消去」画面の[ペアリングボタン]をタッチします。

手順2)

接続されると、ペアリングボタンが[ON]状態に切り替わり、ペアリング完了となります。

メモ

- 本機への登録が済んでいる状態で、登録されている Bluetooth 機器の切り替えをする際に上記の操作を行なってください。
- ペアリング解除されても、登録解除ではありませんので、ペアリングボタンで簡単に再接続することができます。
- すでに 2 台の Bluetooth 機器が登録されている状態で、ペアリングする機器を変更する場合は、登録されている機器を一度解除する必要があります。

Bluetoothを使う（つづき）

Bluetooth電話を使用する

ペアリングが完了している場合、各画面から電話をかけることができます。

ダイヤルパッド画面（電話番号を入力して電話をかける）



	ボタン	説明
1	戻るボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	消去ボタン	入力した数値や記号をタッチする度に一つずつ消去します
4	ダイヤルボタン	番号数値や記号を入力します
5	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
6	電話帳ボタン	電話帳画面に切り替えます
7	履歴ボタン	履歴画面に切り替えます
8	Bluetooth 設定ボタン	Bluetooth 機器登録・消去画面に切り替えます
9	OFF HOOK ボタン	電話発信します

メモ

- ・ダイヤルパッドボタンの「0」を長押しすると、「+」入力することができます。

Bluetoothを使う（つづき）

電話帳画面（登録されている電話帳から電話をかける）



	ボタン	説明
1	戻るボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	電話帳同期ボタン	電話帳同期を行います
4	電話帳リスト	電話帳をリスト表示します
5	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
6	電話帳ボタン	電話帳画面に切り替えます
7	履歴ボタン	履歴画面に切り替えます
8	Bluetooth設定ボタン	Bluetooth機器登録・消去画面に切り替えます

△注意

- 電話帳・通話履歴表示は、接続されているBluetooth携帯電話と同期を行う必要があります。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により、同期ができない場合があります。
- 電話帳同期をする場合、携帯電話側の同期設定をONにする必要があります。OFFのまま電話帳同期を行っても同期はできません。
- 携帯電話によっては、ペアリング時に電話帳同期を行うかの確認メッセージが表示される場合があります。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により表示文字が正しく表示されない場合があります。
- Bluetooth機器の操作方法については、各メーカーへお問い合わせください。
- 本機とBluetooth機器の互換性については、保証しかねます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況により、発信者の電話番号や名前が表示されない場合があります。

Bluetoothを使う（つづき）

履歴画面（発信・着信履歴から電話をかける）



	ボタン	説明
1	戻るボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	履歴種別アイコン	発信・着信種別アイコンを表示します
4	履歴リスト	履歴をリスト表示します
5	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
6	電話帳ボタン	電話帳画面に切り替えます
7	履歴ボタン	履歴画面に切り替えます
8	Bluetooth設定ボタン	Bluetooth機器登録・消去画面に切り替えます
9	履歴カテゴリー ボタン	履歴の種別を選択します

△注意

- 電話帳・通話履歴表示は、接続されているBluetooth携帯電話と同期を行う必要があります。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により、同期ができない場合があります。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により表示文字が正しく表示されない場合があります。
- Bluetooth機器の操作方法については、各メーカーへお問い合わせください。
- 本機とBluetooth機器の互換性については、保証しかねます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況により、発信者の電話番号や名前が表示されない場合があります。

Bluetoothを使う（つづき）

発信確認画面



	ボタン	説明
1	戻るボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	OFF HOOK ボタン	電話発信します
4	発信先情報表示	発信先の情報を表示します
5	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
6	電話帳ボタン	電話帳画面に切り替えます
7	履歴ボタン	履歴画面に切り替えます
8	Bluetooth 設定ボタン	Bluetooth 機器登録・消去画面に切り替えます
9	発信先番号表示	発信先の番号を表示します

△ 注意

- 電話帳・通話履歴表示は、接続されているBluetooth携帯電話と同期を行う必要があります。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により、同期ができない場合があります。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により表示文字が正しく表示されない場合があります。
- Bluetooth機器の操作方法については、各メーカーへお問い合わせください。
- 本機とBluetooth機器の互換性については、保証しかねます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況により、発信者の電話番号や名前が表示されない場合があります。

Bluetoothを使う（つづき）

電話をかける場合（発信）

テンキーや電話帳、履歴から選択した番号に発信することができます。発信された場合は以下の発信画面に切り替わります。

△注意

- ・発信中は、地図画面とBluetooth関連の画面以外には切り替えができません。

□メモ

- ・携帯電話本体を操作して発信することも可能です。



	ボタン	説明
1	発信先情報表示	発信先の情報を表示します
2	ハンズフリー 切り替えボタン	ON : ハンズフリーで通話したい場合 OFF : 携帯電話機で通話したい場合
3	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
4	ペアリング機器情報	ペアリングされている機器情報を表示します
5	ON HOOK ボタン	発信をキャンセル（終話）します

□メモ

- ・発着信・通話中の音量は本体の[VOL]ボタンで調整することができます。
※通話中の音量と着信／発信中の音量は個別に調整することができます
- ・発信中に発信音量を調整した場合、通話切断後、再度発信した場合、音量が初期値に戻ります。
- ・本機による音量調整でも調整ができない場合は、携帯電話機側の音量を調整してください。
- ・無料通話アプリの場合、期待した動作にならない場合があります。これは本機の故障ではなく、各アプリの動作によるものであり、全てのアプリに対して動作保証するものではありません。

Bluetoothを使う（つづき）

電話を受ける場合（着信）

各画面中、着信があった場合、着信画面に切り替わります。

△ 注意

- 着信中は、地図画面とBluetooth関連の画面以外には切り替えができません。

□ メモ

自動着信応答設定がONの場合、着信から数秒経過後に自動的に応答することができます。



ボタン	説明
1 着信情報表示	着信の情報を表示します
2 ハンズフリー切り替えボタン	ON：ハンズフリーで通話したい場合 OFF：携帯電話機で通話したい場合
3 ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
4 ペアリング機器情報	ペアリングされている機器情報を表示します
5 ON HOOK ボタン	着信を拒否することができます（終話します）
6 OFF HOOK ボタン	着信を受けることができます（通話に切り替えます）

□ メモ

- 発着信・通話中の音量は本体の[VOL]ボタンで調整することができます。
※通話中の音量と着信／発信中の音量は個別に調整することができます
- 着信中に着信音量を調整した場合、通話切断後、再度着信があった場合、音量が初期値に戻ります。
- 本機による音量調整でも調整ができない場合は、携帯電話機側の音量を調整してください。
- 無料通話アプリの場合、期待した動作にならない場合があります。これは本機の故障ではなく、各アプリの動作によるものであり、全てのアプリに対して動作保証するものではありません。

Bluetoothを使う（つづき）

通話中の場合

通話を開始すると、通話画面に切り替わります。

△注意

- ・通話中は、地図画面とBluetooth関連の画面以外には切り替えができません。



	ボタン	説明
1	発信・着信情報表示	発信先または着信の情報を表示します
2	ハンズフリー切り替えボタン	ON：ハンズフリーで通話する場合 OFF：携帯電話機で通話する場合
3	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
4	ペアリング機器情報	ペアリングされている機器情報を表示します
5	ON HOOK ボタン	電話を終話します

メモ

- ・発着信・通話中の音量は本体の[VOL]ボタンで調整することができます。
※通話中の音量と着信／発信中の音量は個別に調整することができます
- ・本機による音量調整ができない場合は、携帯電話機側の音量を調整してください。
- ・無料通話アプリの場合、期待した動作にならない場合があります。これは本機の故障ではなく、各アプリの動作によるものであり、全てのアプリに対して動作保証するものではありません。
- ・通話中、電話回線状況、使用する携帯電話機、通話相手の環境等により、エコー（残響音）が発生する場合があります。その場合、ハンズフリー切り替えボタンによりON/OFF操作を行うことで解消される場合があります。

Bluetoothを使う（つづき）

Bluetooth オーディオソース

本機に接続されたBluetoothオーディオ機器内の音楽データ再生ができます。ペアリングが完了している場合、メインメニューの「Bluetoothオーディオ」ソースを選択すると、Bluetoothオーディオソース画面に切り替わります。

△注意

- AVプロファイルの種類やバージョンにより、表示される内容が異なる場合があります。
- ご使用のBluetoothオーディオ機器により、使用できない機能や制限事項があります。
- Bluetoothオーディオ使用中にハンズフリー機能や通信機能を使用すると、一時的にBluetoothオーディオの機能が中断されます。
- 使用する携帯電話機により、Bluetoothオーディオを使用中はデータ通信ができない場合があります。その場合は、一旦BluetoothオーディオをOFFにし、Bluetooth機のオーディオソフト（アプリ）を終了させてからデータ通信を行なってください。
- 接続されているBluetooth機器によって、ファイルの先頭部分が音切れする場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって、再生音が音飛びする場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって、選曲操作後、トラックの先頭の出だしが途切れる場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって、再生やトラックアップ/ダウンなどの操作ができない場合があります。その場合は、接続されているBluetooth機器側から再生の操作を行なってください。
- Bluetooth機器側の仕様や操作については、各メーカーへや製造元にお問い合わせください。

基本画面



Bluetoothを使う（つづき）

	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	電池マーク	Bluetooth 機器の電池状態を表示します
4	アンテナマーク	Bluetooth 機器の電波受信状態を表示します
5	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替わります
6	情報表示	ファイル名 / アーティスト名 / アルバム名を表示します ※タグ情報がない場合は、「Unknown」と表示されます ※Bluetooth 機器により、表示が正しくされない場合があります
7	再生 / PAUSE ボタン	再生中は、一時停止 (PAUSE) を行います 一時停止中は、再生 (PLAY) を行います
8	トラック UP/DOWN	トラックをアップ／ダウンします
9	Bluetooth 設定ボタン	Bluetooth 機器登録・消去画面に切り替えます

△注意

- 接続されているBluetooth機器によって、情報表示できない場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって、アンテナマークや電池マークが表示されない場合があります。また、表示されても正しく表示されない場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって（機種依存）、再生、一時停止、トラックアップ／ダウンができない場合があります。

画質調整

画質調整

各画面の右上にある画質調整ボタンをタッチすると、画面の画質を調整することができます。
※調整された設定値は全画面共通となります

画質調整設定方法

基本画面に表示されている[画質調整]ボタンをタッチします。



画質調整画面の+/-ボタンで各調整項目の調整をします。



<画質調整で設定できる項目>

- ・明るさ
- ・コントラスト
- ・カラー
- ・色合い

<画質調整で設定できる調整範囲>

- ・-10 ~ +10

画質調整画面解除方法

画質調整画面を解除するには、[画質調整画面解除]ボタンをタッチします。

DUAL MAP (2画面)

2画面機能 (DTV/DVD/HDMI)

本機では、地図画面とAVソース画面を2画面分割表示できる「DUAL MAP」機能を搭載しています。

DUAL MAP対応ソース

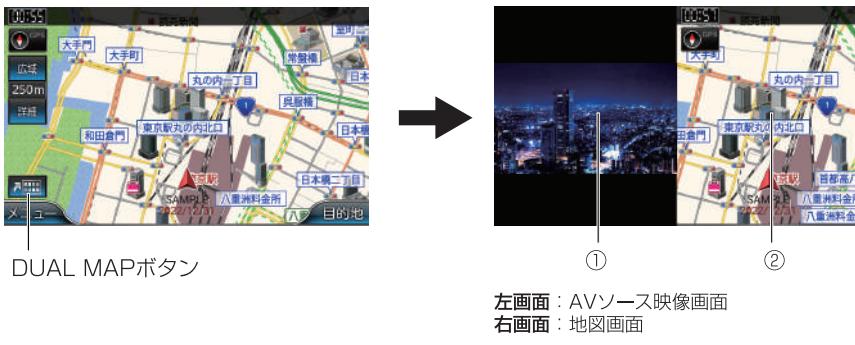
- 地図画面と2画面にできるAVソースは以下となります。

※下記以外のAVソースの2画面分割は非対応

- ・DTV (地デジ/ワンセグ) ソース
- ・DVDソース
- ・HDMIソース

DUAL MAP設定方法

地図画面に表示されている[DUAL MAP]ボタンをタッチします。



DUAL MAP解除方法

DUAL MAP画面中に、以下のボタンをタッチすることでDUAL MAPが解除されます。

- ①の映像画面をタッチ：AVソース映像画面（全画面）に切り替わります
- ②の地図画面をタッチ：地図画面（全画面）に切り替わります

△注意

- 自車位置が現在地にある場合のみ[DUAL MAP]ボタンが表示されます。
- 地図画面をスクロールしている場合は、[現在地]ボタンをタッチして現在地画面に戻してください。
- DUAL MAP中に本体[MAP]ボタンを押下しても無効となります。
- DUAL MAP対応ソース (DTV, DVD, HDMIソース) 中以外は地図画面の[DUAL MAP]ボタンは表示されません。
- DUAL MAP画面（左右）位置は固定となり、入れ替えることはできません。
- DUAL MAPにした場合、AVソースの映像画面サイズが自動的に比率に切り替わるため、小さく表示されます。また、画面比率は実際の画面表示と異なる場合があります。
- DUAL MAP中に発着信した場合は、Bluetooth電話の発着信中画面に切り替わります。
- DUAL MAP中にステアリングリモコンの[SRC]キーを押下するとDUAL MAP画面を解除します。
- DUAL MAPへ切り替えるまたはDUAL MAP画面から全画面に切り替える際、一時的に音声が途切れますが、故障ではありません。

本体設定

セッティングメニュー

メインメニュー画面の「設定」ボタンをタッチすると、セッティングメニュー画面に切り替えります。



	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	システム設定	本機のシステムに関する設定ができます
4	オーディオ設定	オーディオ機能の設定ができます
5	Bluetooth 設定	Bluetooth 接続の設定ができます
6	カメラ設定	カメラ機能の設定ができます
7	情報	バージョンや本機に関する情報を確認できます

本体設定（つづき）

システム設定

セッティングメニュー画面で「システム設定」を選択すると、本機のシステム設定画面に切り替わります。

システム設定では、本機のシステムに関する各種設定ができます。



	ボタン	説明
1	メニューボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	各種設定項目	設定内容については、次ページ参照

本体設定（つづき）

システム設定項目

設定項目	機能	設定値
操作音	本機の操作音を鳴動するかを設定します ON：操作音を鳴動します OFF：操作音を鳴動しません	ON OFF
ステアリングリモコン	ステアリングリモコンの設定をします	設定画面参照
リアモニター出力	リアモニターへ AV ソースの映像を出力するかを設定します ON：リヤモニターへ出力します OFF：リヤモニターへ出力しません	ON OFF
ディマー	画面の昼夜切り替えタイミングを設定します [イルミ連動] 車両のイルミ（ライト）を ON になると、夜モード判定となります [時刻連動] 決められた時刻になると昼夜モードを自動的に切り替えます	イルミ連動 時刻連動 OFF
AV・本体初期化	本機の設定を全て初期化し、工場出荷状態に戻します ※ナビ機能の設定は初期化されません	—

△注意

- バックカメラをON（リバースON）にした際、リヤモニター画面に表示されている映像が非表示状態（信号無し）となります。バックカメラをOFFにすると、再度映像表示されます。

□メモ

- ・操作音は、ボリュームが「0」、「MUTE」時や操作音設定が[OFF]の場合、鳴動しません。
- ・リアモニターへ出力できるAVソースは以下となります。
DTV（地デジ/ワンセグ）、DVD、VTR
- ・ディマーの時刻連動は、以下の時刻で昼夜切り替えを行います。
<4月～9月>
昼=6:00～18:00
夜=18:00～翌6:00

<10月～3月>
昼=7:00～17:00
夜=17:00～翌7:00

本体設定（つづき）

ステアリングリモコン設定

本機は、車両のステアリングリモコンでも一部の操作を行うことができます。
ステアリングリモコンを使用するには、学習機能を設定する必要があります。

△注意

- ステアリングリモコンを使用するには、ステアリングコントロール線を接続する必要があります。
- 車種によっては、専用のステアリングリモコンアダプター（ケーブル）が必要になる場合があります。
※詳細は販売店にお問い合わせください
- 車種によっては、機能の割り当てができない場合があります



設定方法

手順1)

本体とステアリングリモコンの接続を確認してください。

手順2)

「設定スタート」をタッチします。

手順3)

画面上に表示されている各機能ボタンをタッチします。

手順4)

割り当てたいステアリングリモコンのボタンを押します。
ステアリングリモコンにお好みの各機能がセットされます。

手順5)

すべて割り当てた後、「設定完了」ボタンを押すと、登録完了となります。

■メモ

設定を間違えた場合や設定をクリアしたい場合は、 をタッチして、初めからやり直してください。

本体設定（つづき）

本機で設定可能なボタン（割り当て可能な機能）

- ・ SRC（ソース）ボタン
SRCキーを押下すると、AVソースをトグルして切り替えます。
※ナビ画面には切り替わりません
※有効なソースのみを切り替え、無効なソースはスキップします
- ・ ミュート（消音）ボタン
音量をMUTEします。再度、ボタンを押下するとMUTEが解除されます。
- ・ ◀◀/▶▶ボタン
短押し：ファイルやチャンネルなどのアップ・ダウンを行います。
長押し：ファイル再生中などに早送り/早戻しを行います。
※車種によっては、できない場合があります
- ・ VOL（ボリューム）[+] / VOL（ボリューム）[-]ボタン
音量をアップ・ダウンします。
ボリューム[-]を長押しすると、MUTEとなります。
- ・ OFF HOOK（受話ボタン）
Bluetooth電話による着信時、電話を受話することができます。
- ・ ON HOOK（終話ボタン）
Bluetooth電話による発信時または通話中、電話を切断・終話することができます。
※着信中に押下すると、着信拒否します

△注意

- 車種によっては、操作する際、操作音が不規則に鳴動する場合や操作しても鳴動しない場合があります。
- 車種によっては、ボタン名称が異なる場合があります。

本体設定（つづき）

オーディオ設定

セッティングメニュー画面で「オーディオ設定」を選択すると、本機のオーディオ設定画面に切り替わります。

オーディオ設定では、再生中の音源やスピーカーの数などに応じて、お好みの音質に設定することができます。

メモ

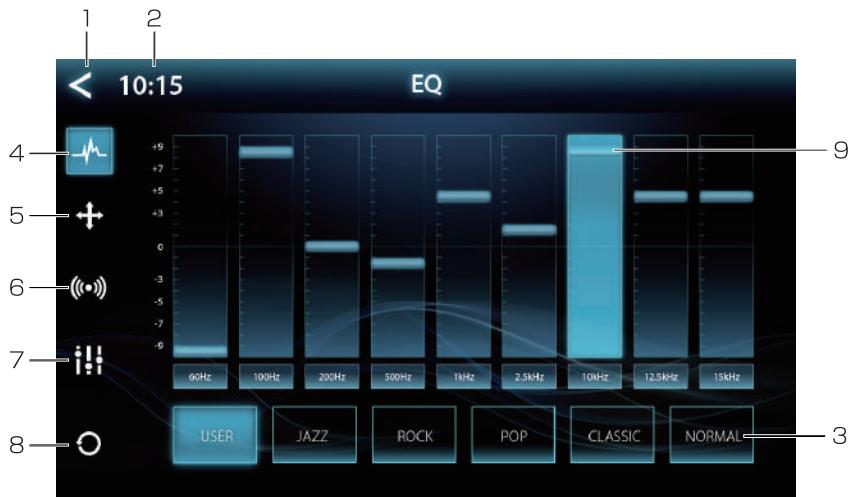
- ・ SLA以外の設定値はすべてのAVソースに反映されます。
- ・ SLAの設定値は各AVソースごとにメモリされます。
- ・ オーディオ設定初期化や工場出荷を行うと、メモリされている設定が初期値に戻ります。
- ・ オーディオ設定を行う場合、音量レベルを下げた状態で行ってください。調整により突然、音量が大きく変化する場合がありますので、ご注意ください。
- ・ 音源や車室内の環境（スピーカーの種類や数など）により、効果が得られない場合があります。

本体設定（つづき）

イコライザー設定

各オーディオ画面の「EQ」ボタンをタッチすると、EQ（イコライザー）設定画面に切り替わります。

あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調整したUSERから、曲調や気分に合わせてイコライザーカーブとその効果レベルを選択できます。



ボタン		説明
1	メニュー ボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示 ボタン	時計を表示します
3	イコライザー種別 ボタン	以下のイコライザーカーブを選択します USER/JAZZ/ROCK/POP/CLASSIC/NORMAL
4	EQ ボタン	イコライザー設定画面に切り替わります
5	FAD/BAL ボタン	フェーダー / バランス設定画面に切り替わります
6	LOUDNESS ボタン	ラウドネス設定画面に切り替わります
7	SLA ボタン	ソースレベルアジャスター設定画面に切り替わります
8	設定初期化 ボタン	全てのオーディオ設定を初期化します
9	レベル ボタン	レベルを調整します

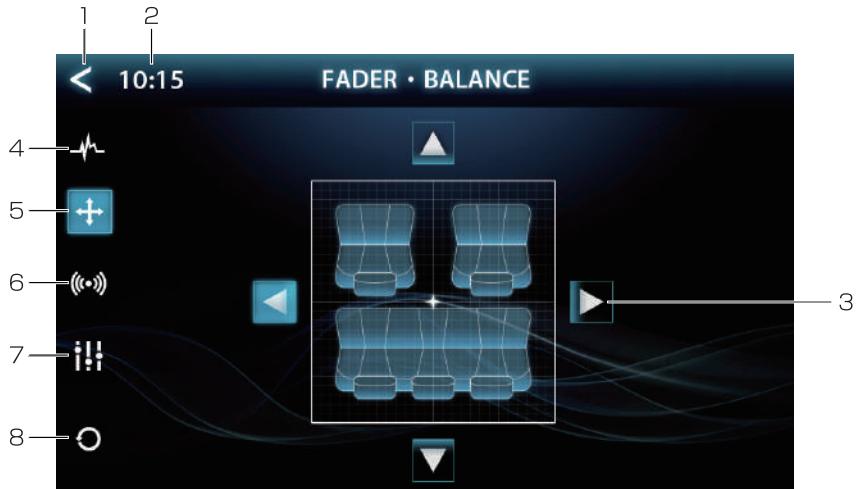
メモ

- ・「USER」を選択すると、お好みのカーブ、レベルに調整することができます。
- ・[設定初期化ボタン]をタッチすると、全てのオーディオ設定が初期化されますので、ご注意ください。

本体設定（つづき）

フェーダー／バランス設定

上下左右の各ボタンをタッチすることで、前後左右のスピーカーバランスを調整することができます。



	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	FAD/BAL ボタン	調整ボタンで前後左右のバランスを調整します
4	EQ ボタン	イコライザー設定画面に切り替わります
5	FAD/BAL ボタン	フェーダー／バランス設定画面に切り替わります
6	LOUDNESS ボタン	ラウドネス設定画面に切り替わります
7	SLA ボタン	ソースレベルアジャスター設定画面に切り替わります
8	設定初期化ボタン	全てのオーディオ設定を初期化します

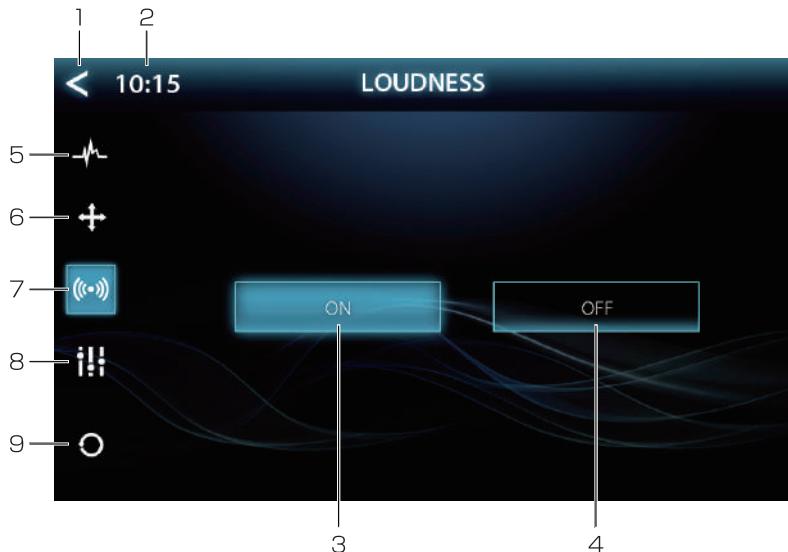
メモ

- ・[設定初期化ボタン]をタッチすると、全てのオーディオ設定が初期化されますので、ご注意ください。
- ・FAD/BALは、四角の枠内をドラッグ操作することでも調整することができます。

本体設定（つづき）

ラウドネス設定

ONにすることで音の輪郭や大きさ、強さを強調します。



	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	LOUD ON ボタン	ラウドネス効果を ON にします
4	LOUD OFF ボタン	ラウドネス効果を OFF にします
5	EQ ボタン	イコライザー設定画面に切り替わります
6	FAD/BAL ボタン	フェーダー / バランス設定画面に切り替わります
7	LOUDNESS ボタン	ラウドネス設定画面に切り替わります
8	SLA ボタン	ソースレベルアジャスター設定画面に切り替わります
9	設定初期化ボタン	全てのオーディオ設定を初期化します

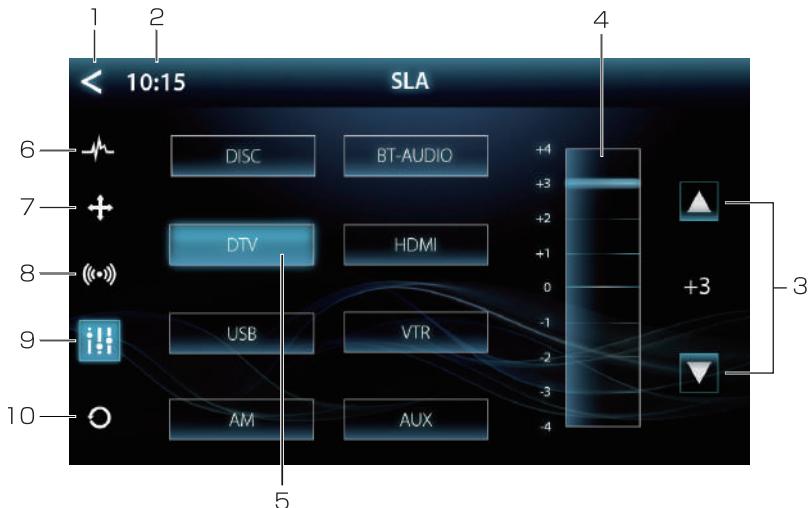
メモ

- ・音源や車内環境によって、効果が得られないまたは効果が薄い場合があります。
- ・[設定初期化ボタン]をタッチすると、全てのオーディオ設定が初期化されますので、ご注意ください。

本体設定（つづき）

ソースレベル設定

AVソースを切り替えた際、ソースごとに音量の差が出ないよう、各AVソースの音量の差を揃えることができます。



	ボタン	説明
1	メニュー	一つ前の画面に切り替えます
2	時計	時計を表示します
3	レベル	レベルを調整します
4	レベル表示	レベルを表示します
5	AV ソース	設定する AV ソースを選択します
6	EQ	イコライザー設定画面に切り替わります
7	FAD/BAL	フェーダー / バランス設定画面に切り替わります
8	LOUDNESS	ラウドネス設定画面に切り替わります
9	SLA	ソースレベルアジャスター設定画面に切り替わります
10	設定初期化	全てのオーディオ設定を初期化します

メモ

- ・AVソースごとにメモリされますが、同じ設定になるものは以下となります。
<ディスク>CD、DVD
<USB>USB (MUSIC)、USB (VIDEO)
- ・[設定初期化ボタン]をタッチすると、全てのオーディオ設定が初期化されますので、ご注意ください。

本体設定（つづき）

Bluetooth設定画面

セッティングメニュー画面で「Bluetooth設定」を選択すると、Bluetoothに関する設定画面が表示されます。



設定項目	機能	設定値
機器登録・消去	Bluetooth 機器の登録や消去、ペアリングの設定をすることができます	—
自動接続	本機を起動したとき、最後に接続していた Bluetooth 機器と自動接続できます	ON OFF
自動検出	Bluetooth 機器を本機から検出（サーチ）できます	ON OFF
自動着信応答	本機の Bluetooth 接続している携帯電話機が着信した際、自動で応答することができます	ON OFF
デバイス名称	本機の自機名称を設定できます	REGEZO AZ-723
デバイスアドレス	デバイスアドレスを表示します	—
パスキー	本機のパスキーを設定できます	1111
BT機器設定初期化	Bluetooth 設定を全て初期化します	—

メモ

- ・パスキーの初期値は「1111」となります。
- ・パスキーを変更した場合は、メモを取るなどして忘れないようにご注意ください。
- ・パスキーが不明な場合は、工場出荷状態に戻してください。

本体設定（つづき）

バックカメラ設定

セッティングメニュー画面で「カメラ設定」を選択すると、バックカメラに関する設定ができます。

車両の汎用バックカメラなどを接続して、車の後方の映像を画面に表示できます。

△注意

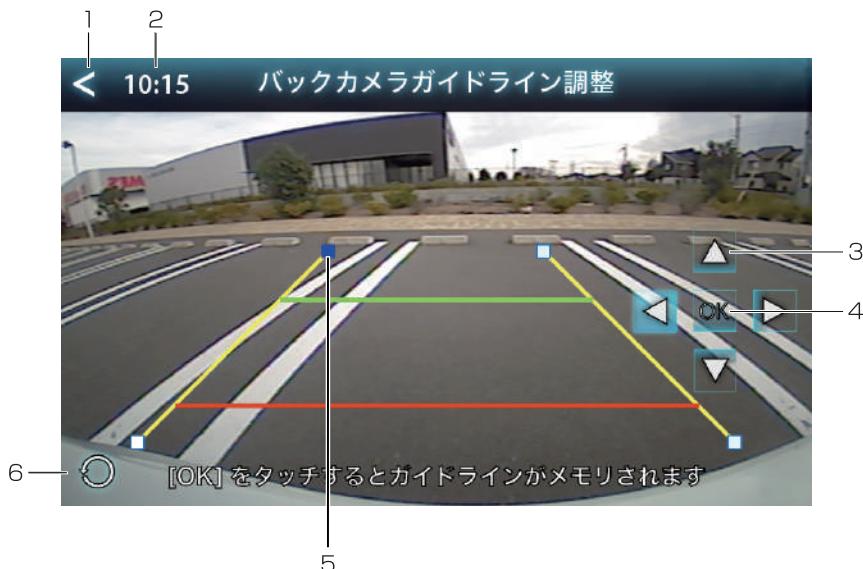
- ・バックカメラを使用するには、別売のバックカメラが必要になります。
- ・車種によっては、専用のバックカメラアダプター（ケーブル）が必要になる場合があります。
※詳細は販売店にお問い合わせください



設定項目	機能	設定値
バックカメラ入力	バックカメラ映像を表示するかを設定できます	ON OFF
バックカメラガイドライン	バックカメラ映像にガイドラインを表示するかを設定できます	ON OFF
バックカメラタイミングボリューム	リバースギアが ON になった際、AV 音量の出力を設定します。 ※バックカメラ入力設定の [ON/OFF] に関わらず、バック信号線が接続されている場合に有効な設定となります	OFF MUTE HALF
バックカメラガイドライン調整	バックカメラガイドラインの調整を行うことができます	—

本体設定（つづき）

バックカメラガイドライン調整



バックカメラガイドライン調整設定項目

	ボタン	説明
1	メニュー ボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	上下左右	カーソル ポイントを上下左右に動かします
4	OK	設定後にボタンをタッチするとメモリされます
5	調整 ポイント	調整したい ポイントを選択できます
6	設定初期化 ボタン	カーソル位置を初期値に戻します

メモ

バックカメラが映し出す範囲は、バックカメラの取り付け位置や取り付け方向によって変わります。

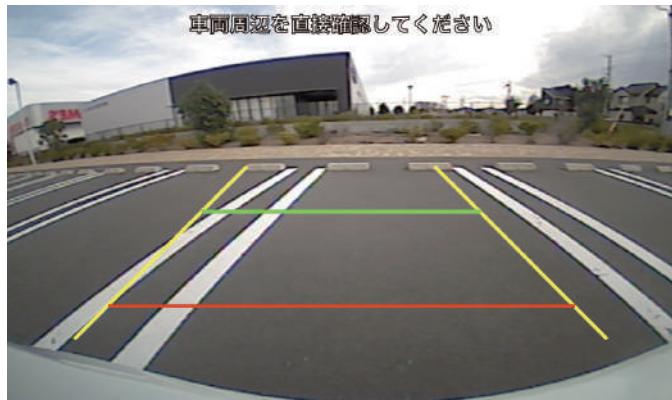
注意

- 「バックカメラ入力」が[OFF]の場合は、バックカメラガイドライン調整の画面に切り替えることはできません。
- 「バックカメラガイドライン」が[OFF]の場合は、バックカメラガイドライン調整の画面に切り替えても、ガイドラインが表示しませんので、「バックカメラガイドライン」の設定を[ON]にしてください。
- バックカメラガイドライン調整画面でバックカメラ映像が表示されない場合は、パーキングブレーキ（サイドブレーキ）を引いて、シフトレバーを「R（リバース）」に入れてください。

本体設定（つづき）

● バックカメラ映像

シフトレバーをリバース（R）の位置にすると、車両後方の映像に切り替わります。駐車場などで後退するときに表示すると便利です。



△ 注意

- 後退時は、バックカメラ映像に頼らず、必ず車両周辺を目視して確認してください。

■ メモ

- ・バックカメラを正常に動作させるためには、バック信号入力の接続が必要です。
- ・本機を起動してすぐにシフトレバーをリバース（R）に入れると、カメラ映像が表示されたあと、少し遅れてコーナー表示やガイドラインが表示される場合があります。メッセージが表示される前も車両周辺を直接確認してください。

本体設定（つづき）

情報画面

セッティングメニュー画面で「情報」を選択すると、本機の情報画面に切り替わります。



情報画面設定項目

設定項目	機能	設定値
バージョン情報	本機のバージョンを表示します	—
地図データ更新	地図データを更新する場合に使用します	—
システムデータ更新	本機のシステムデータをアップデートをする場合に使用します	—
MCU 更新	本機のドライバをアップデートをする場合に使用します	—

メモ

各更新方法については、画面の指示に従って更新作業を行なってください。

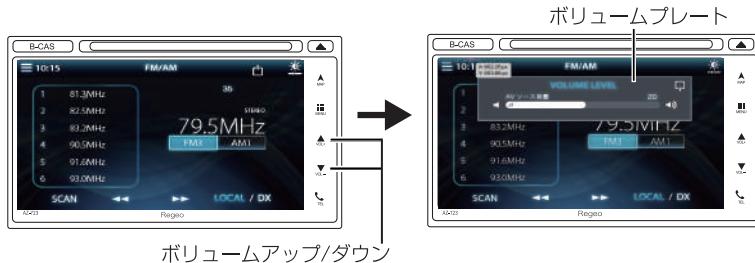
ボリューム操作

ボリューム操作をする

本体のボリュームボタンを押下することで、音量調整を行うことができます。

ボリューム調整方法

本体の[▲]または[▼]ボタンを押下すると、ボリューム調整ができます。
また、ボタンを押下すると同時にボリュームプレート（調整画面）が表示されます。
※ステアリングリモコンでも操作可能です



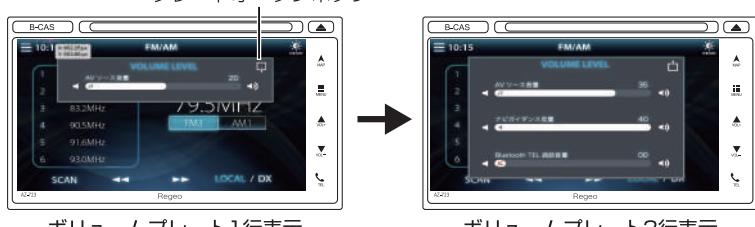
ボリュームアップ/ダウン

ボリュームプレート

ボリュームプレートについて

ボリューム調整を行うと、ボリュームプレート（1行）が表示されます。
ボリュームプレート（1行）が表示された際、プレートオープンボタンをタッチすると、
ボリュームプレート（3行）表示に切り替わります。
3行表示の場合、「AVソース音量」、「ナビガイド音量」、「Bluetooth TEL通話音量」の調整ができます。

プレートオープンボタン



ボリュームプレート1行表示

ボリュームプレート3行表示

メモ

- 音量が大きい状態のままエンジンOFFすると、次回起動時に大音量が出力されますので、エンジンOFFする際は、音量を下げてください。
- プレート表示内のスライドバーを左右にドラッグ操作することでも調整が可能です。
- ナビガイド音声が割り込んでいる際にボリュームを操作を行うと、「ナビガイド音量」の調整を行います。
- Bluetooth電話の発信・通話中および着信中にボリュームを操作を行うと、Bluetoothの電話音量の調整画面が表示されます。
- Bluetooth電話の着信または発信中に音量を調整した場合、通話終話後や着信拒否後は、次回の発着信時に大音量になることを防ぐため、Bluetooth電話の着信および発信音量が初期値に戻ります。
- ナビガイド音声が割り込んでいる間は、AVソースの音量がMUTE（無音）となります。

SCREEN SHADE

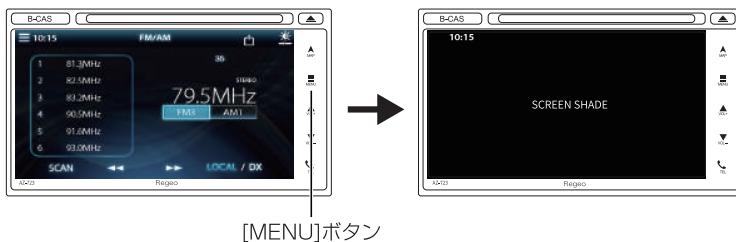
SCREEN SHADE 操作をする

再生音等はそのまままで、画面のみを黒画面にしたい場合は、SCREEN SHADE機能を使用できます。夜間など、画面が眩しい時に使用すると便利です。

※完全に黒画面にはできません

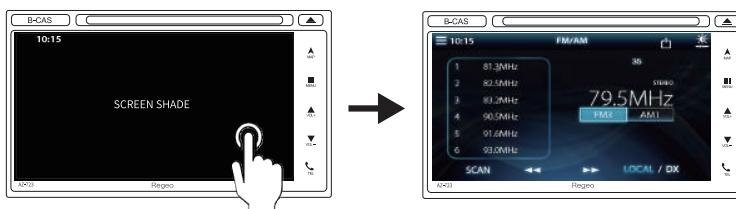
SCREEN SHADE設定方法

本体の[MENU]ボタンを長押しします。



SCREEN SHADE解除方法

SCREEN SHADE状態の画面をタッチすることで、SCREEN SHADE画面を解除し、元の画面を表示します。



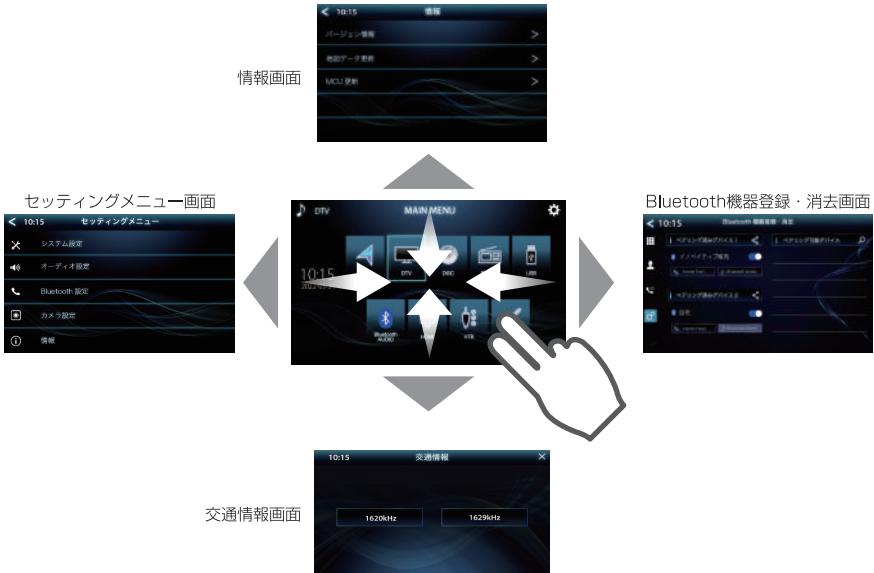
メモ

- ・一部のソースでは、薄く映像が表示される場合があります。
- ・SCREEN SHADE中にバックカメラに切り替わった場合は、SCREEN SHADEを一時解除します。
- ・SCREEN SHADE中にBluetooth着信が入った場合は、SCREEN SHADE画面を解除します。
- ・SCREEN SHADE中に本体やステアリングリモコンボタンで操作を行うと、SCREEN SHADE画面状態のまま動作を行います。
- ・SCREEN SHADE中にナビ交差点割り込みやナビガイド音声の割り込みが入った場合は、SCREEN SHADE画面状態を維持したままとなります。
- ・Bluetooth通話中、発信中、着信中は、本機能が動作しません。
- ・バックカメラ中は、本機能が動作しません。

メインメニュー スワイプ操作

スワイプ操作をする

メインメニュー画面にて、二本指によるスワイプ操作をすることで、各画面へショートカット遷移することができます。



切り替え先画面

スワイプ操作	切り替え先画面
上から下へ (↓)	交通情報画面
下から上へ (↑)	情報画面
右から左へ (←)	セッティングメニュー画面
左から右へ (→)	Bluetooth 機器登録・消去画面

メモ

- ・交通情報画面に切り替えた場合に限り、メインメニュー画面に戻る場合は、交通情報画面右上の[×]ボタンをタッチするか、画面下から上へスワイプ操作をします。
- ・スワイプ操作は二本指で行ってください。うまくスワイプ操作ができない場合は、指と指の間隔を少し広げてスワイプ操作を行ってください。

交通情報

交通情報ソースを使用する

交通情報は、幹線道路や高規格道路などで放送されている交通情報を受信する際に便利な機能です。

メインメニュー画面中、画面上から下に向かってスワイプ操作を行うと、交通情報画面に切り替わり、[1620kHz]または[1629kHz]のいずれかを選択することができます。

基本画面



	ボタン	説明
1	時計表示	時計を表示します
2	閉じるボタン	交通情報画面を閉じて、メインメニュー画面に切り替えます
3	1620kHz	周波数を 1620kHz に切り替えます
4	1629kHz	周波数を 1629kHz に切り替えます

メモ

- ・交通情報画面に切り替えた場合に限り、メインメニュー画面に戻る場合は、交通情報画面右上の[×]ボタンをタッチするか、画面下から上へスワイプ操作します。

取り付け・接続について

取り付け・接続の前に

各配線を接続する前に、以下の注意事項をよく読んで、正しく接続・配線をしてください。また、仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。アンテナ類などは受信状態の良い位置を確かめてから、取り付けを行なってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

接続上の注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディアース（金属部）に確実に接続してください。アースの取り付けに不備があると、車の振動等による突然動作しなくなる可能性があります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流の大きい製品のアースとは別々に接続してください。まとめて接続すると、ネジが緩んだり、外れたりした時に製品の発煙、故障の原因となる恐れがあります。
- アースの取り付け方によって、動作が不安定になる場合がありますので、その場合は、アースの取り付け位置やケーブルの取り回しを確認してください。
- アースを取る場合は、車両の金属部に取り付けをしますが、金属部でない場合は、アース接続となりませんので、金属部であるかをよく確認した上で取り付けをしてください。
- 本機は、エンジンスイッチにACCポジションがない車には使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。
- 赤リード線（アクセサリー電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には絶対に接続しないでください。誤って接続すると、車のバッテリーが消耗し、バッテリー上がりの原因となります。
- パーキングブレーキ線は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。
- 必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障の原因となります。
- スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーのマイナスリード線を共通にして接続しないでください。
- 規格以外のスピーカーを使用しないでください。スピーカーやアンプの発火・発煙、破損の原因となります。
- ガラスアンテナ車など、アンテナブースターの電源がある場合、本機の青リード線（アンテナコントロール）を車側のアンテナブースターの電源に接続してください。接続しないと、ラジオ放送の受信ができません。
※アンテナブースターの電源位置は、車種により異なります。詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください
- 各ギボシ端子は確実に接続してください。金属部分が剥き出しにならないようにご注意ください。火災やショートの原因となります。
- 使用しない各ギボシ端子の絶縁処理を行ってください。火災やショートの原因となります。
- エレクトロタップを使用する場合、適切なサイズのエレクトロタップを使用してください。

コネクタ接続の注意

- コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スマーズに入らない場合は、差し込み口が間違っている可能性があります。
- 無理に接続すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- コネクタを外す場合は、コネクタのロック部を押しながら引っ張ってください。コードのみを無理やり引っ張ると、コード自体が抜けて破損の原因となります。

粘着テープを貼り付ける際の注意

- 両面テープを貼り付ける際は、汚れや油分をよく拭き取ってください。
- 粘着テープの貼り直しは、粘着力が低下するため、おやめください。
- 粘着テープで設置する際は、各種アンテナ類を仮留めをし、各動作を確認した上で行ってください。

取り付け・接続について（つづき）

本体の設置（固定）前に

- 本体の取り付けをする前に、必ず背面の各種コネクターやケーブル等の接続確認（映像や音声の入出力、各種アンテナの動作状況を）をした上で、本体設置をしてください。
全ての取り付けを行った後にケーブル類の未接続があると、再度、取り外さなければならなくなりますので、ご注意ください。

中継パートを使用する場合

- サービスホールなどを利用してHDMI端子やUSB端子を延長（中継）する場合、正しく映像表示や音声出力等ができない場合があります。その場合、中継パート等は使用せずに接続をしてください。

ノイズ防止

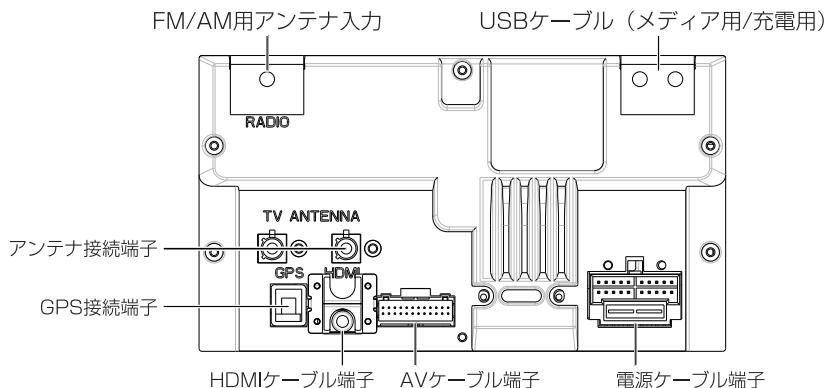
- ノイズ防止のため、次のものは本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して設置してください。
 - ・GPS一体型フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - ・DTVフィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - ・FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - ・その他、アンテナコード
- アンテナやコード類などは一緒に束ねたり、重ねたり、交差させないでください。
アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと、受信感度が著しく低下したり、映像や音声やノイズが入る場合があります。
- アンテナ等は、ドライブレコーダーやETC、車両の安全運転支援装置類等の機器からできるだけ離して設置してください。
本機または他の機器に影響（ノイズやGPS受信など）が出る可能性があります。

GPSについて

- GPSとは、「Global Positioning System」の略称です。アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。
- トンネル内やビル群、山間部等では、GPSの電波を受信できなくなる場合があります。
また、衛星の受信状態などにより、約50m～100m程度の測定誤差が出る場合があります。
- 自車位置はGPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位を行うことはできません。
- 車両のフロントウインドウガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、GPS受信に影響が出る可能性やGPSが受信できない可能性があります。
- GPSアンテナは各車載機器（※1）および各アンテナ（※2）からなるべく離した位置に設置してください。車載機器やアンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、本機もしくは各車載器が誤動作を起こす原因となる場合があります。
そのような場合、各車載器から離して、GPS衛星の受信に影響のない場所へ設置してください。
※1 ドライブレコーダー、ETC車載器、地デジチューナー、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機など
※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど
- 最後に電源オフしてからの自車位置と次に電源オンした地点が離れていた場合、GPS受信までに時間がかかる場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラ）などを搭載した車両に設置すると、位置によっては衝突回避支援システムからのノイズに干渉し、GPSが測位しづらくなる場合があります。
- ドライブレコーダー本体や地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器から漏れた電波により、GPSを受信できない場合があります。
- 本機のナビゲーション自車位置検知はGPSのみとなります。そのため、ビル群や山間部等では自車位置に誤差が生じる場合があります。
- 自車位置に誤差が生じた際、ルート中にリルート（再探索）がかかる場合があります。
- 地下駐車場やトンネル内、高架下などGPSを受信することができない場合は、正確な自車位置が表示されません。
- 地下駐車場やトンネル内から退出した際、測位するまでに時間がかかる場合があります。

電源・ケーブルの接続方法

接続端子の名称

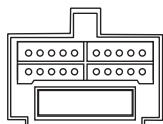
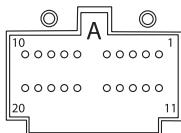


FM/AM用アンテナ入力端子	車載のラジオアンテナを接続します
USBケーブル (充電用)	USB 機器の充電専用となります (1A) ※USB メモリを接続しても、USB ソースは ON になりません
USBケーブル (メディア用)	USB ソース専用端子となります (100mA) 対応している USB メモリを接続することで、USB ソースを使用することができます
GPS一体型アンテナ接続端子	GPS 一体型フィルムアンテナを接続します (緑色)
DTVアンテナ接続端子	DTV 一体型フィルムアンテナを接続します (紫色)
HDMIケーブル端子	HDMI (Type-D) を接続します
電源ケーブル端子	電源ケーブルコネクタを接続します
AVケーブル端子	AV ケーブルコネクタを接続します

電源・ケーブルの接続方法（つづき）

各種ケーブル

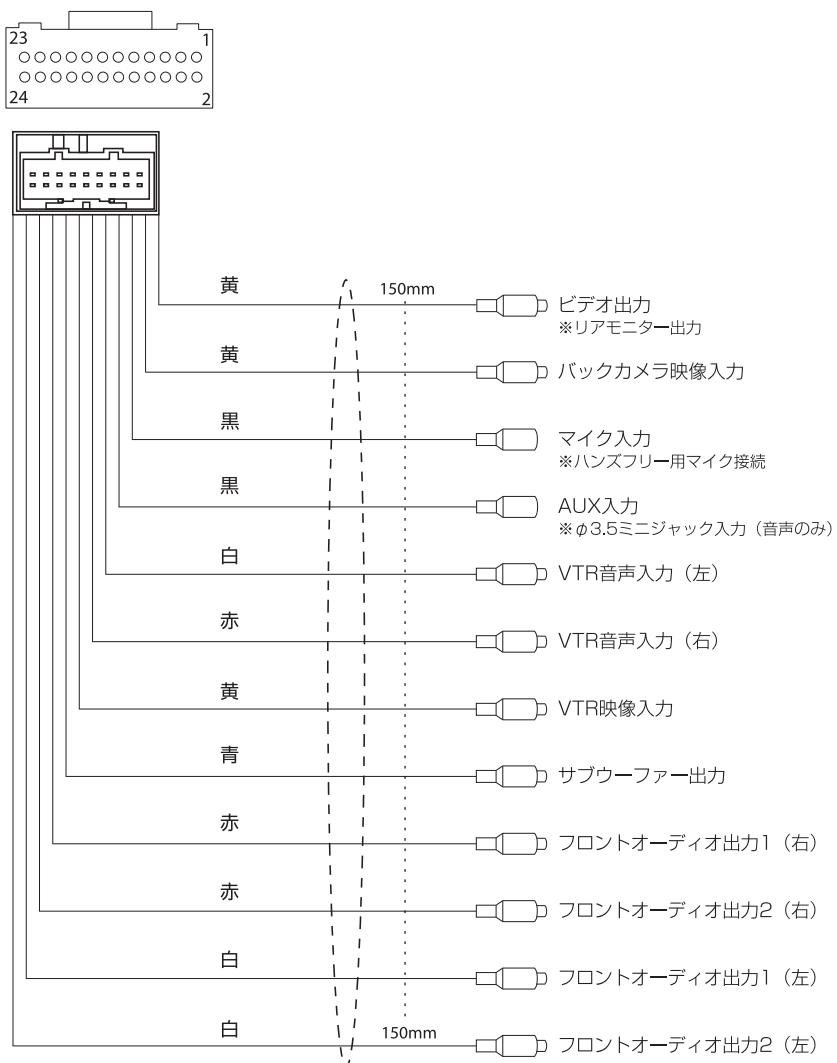
電源ケーブル名称



若草	3000mm	パーキングブレーキ
赤	100mm 400mm	アクセサリー電源+
黒	150mm	ステアリングコントロールアース
黒	400mm	アース
黄	400mm 100mm	+バッテリーエンジン
紫黒	150mm	Rスピーカー 右-
灰黒	150mm	Fスピーカー 右-
白黒	150mm	Fスピーカー 左-
緑黒	150mm	Rスピーカー 左-
紫	5000mm	バック信号入力
青藍	150mm	アンテナコントロール
橙	150mm	イルミ電源
茶黒	150mm	ステアリングコントロール2
茶	50mm 150mm	ステアリングコントロール1
白青	150mm	システムリモートコントロール
紫	150mm	Rスピーカー 右+
灰	150mm	Fスピーカー 右+
白	150mm	Fスピーカー 左+
緑	150mm	Rスピーカー 左+

電源・ケーブルの接続方法（つづき）

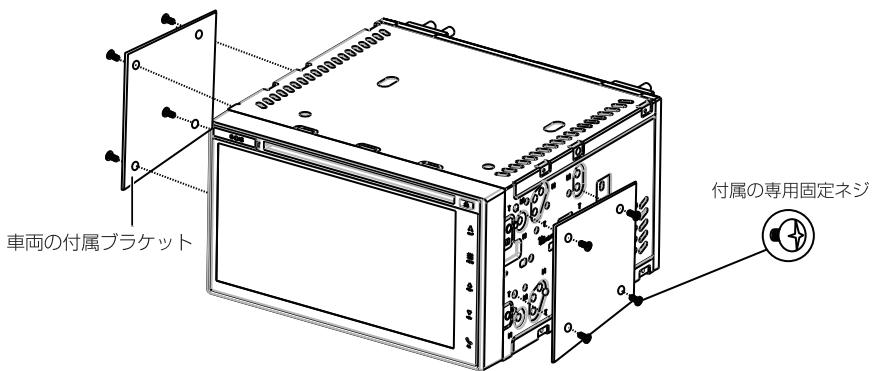
AVケーブル名称



本体の設置方法

本体の設置方法

- 1 車両に付属されているブラケット（金属ステー）のネジ穴に合わせて取付位置を選び、付属の専用固定用ネジで取り付けます。
- 2 車両側の元の取り付け位置に取り付けします。



△注意

- 必ず、本機に付属されているネジを使用して、指定通りに取り付けてください。
- 車種別取り付けキットに付属のネジや純正カーステレオに付属のネジは使用できません。
- 付属以外のネジを使用すると、故障の原因となります。
- 本機を取り付けた後、車種によっては、車両との間に隙間ができる場合があります。その場合は、市販品のブラケットやスペーサーなどで隙間を埋めてください。

HDMIケーブル・プレート取付方法

HDMIケーブル、プレート取付方法

HDMIケーブル接続について

本機の背面にHDMIケーブル（Type-D）を接続し、HDMI機器からの映像（音声）を表示させることができます。

HDMIケーブルを接続する際、以下の内容に従って、接続をしてください。

△注意

- HDMIケーブルは、Type-D（マイクロHDMI端子）をご使用ください。
- HDMIケーブルの接続口のサイズに合ったケーブルをご使用ください。
- HDMI変換コネクタを使用した場合、正しく入力できない場合があります。
- 車両のスイッチホール等を利用してケーブル延長中継機器などをご使用した場合、正しく使用することができない場合があります。

HDMIケーブル固定プレート（付属品）について

HDMIケーブルを接続した際、車の振動等により、ケーブルが脱落する可能性があります。そのため、付属品のHDMIケーブル固定プレートを必ずはめてください。

固定プレートのU字リング部は上下異なります。使用するHDMIケーブルの形状に適切な向きを選択してご使用ください。

HDMIケーブル固定プレートがうまくはまらない場合は、プレートの向きや種類を変えて、適切なU字リング部を使用してください。

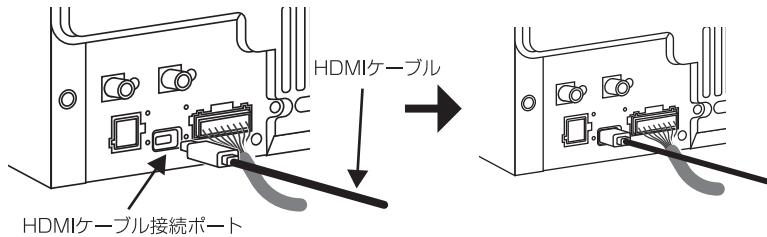
△注意

- 固定プレートを使用しないと、車の振動等により、突然外れてしまう可能性がありますので、固定プレートを使用して接続してください。
- HDMIケーブル固定プレートがうまくはまらない場合は、プレートの向きを変えて、適切なU字リング部を使用してください。

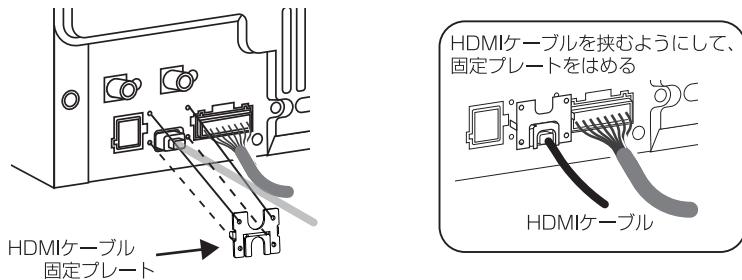
HDMIケーブル・プレート取付方法（つづき）

HDMIケーブル、プレート取付方法

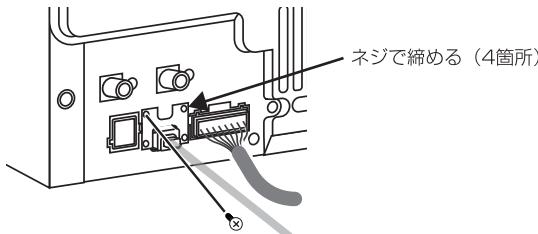
- 1 HDMI (Type-D) ケーブルを本体裏の接続ポートに接続します。



- 2 HDMIケーブル固定プレートを下図のようにはめてください。



- 3 HDMIケーブル固定プレートを付属の専用ネジで固定してください。



△注意

- プレートをネジで固定する際、強くネジを回しそぎると、ケーブルが変形したり、損傷する可能性がありますので、ケーブルの接続状態を確認しながらネジを締めてください。
- HDMIケーブルを無理な力で押し込んだ状態でプレートをはめると、HDMI接続端子部分に力が加わった状態が続き、破損する恐れがあります。
- 使用されるHDMIケーブルの形状により、固定プレートがはまらず、正しく固定できない場合があります。その場合は、ケーブルを変更してください。
- HDMIの映像が正しく表示されていることを確認した上で、本体の設置をしてください。

GPS一体型フィルムアンテナ設置方法

GPS一体型フィルムアンテナの取り付け

△注意

- 保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第 29 条及び細目を定める告示第 195 条をいいます
- 付属の GPS 一体型フィルムアンテナ、フィルムアンテナは、車室内取り付け専用となります。
- 付属の GPS 一体型フィルムアンテナ、フィルムアンテナは、フロントウインドウ貼り付け専用となります。フロントウインドウ以外には貼り付けないでください。
- 熱線やプリントアンテナ上には貼り付けないでください。ショートや発熱、性能劣化の原因となります。
- フィルムアンテナの取り付け前に車内の内張りを取り外す必要がある場合がありますが、ピラーを外す際、ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両の場合は、絶対にピラーを外さないでください。フロントエアバッグの誤動作などの原因となり、大変危険です。ピラーを取り外さずにフィルムアンテナを取り付ける方法について、詳しくはお買い上げ販売店にご相談ください。
- 必ず、フロントウインドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 車種によっては、取り付けができない場合があります。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合、GPS やテレビ受信感度が極端に低下します。
- 必ず、車内の取り付け場所に、市販のテープなどで仮留めをして、エレメントやアンプが貼り付けられるかを確認してください。
- GPS フィルムアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- GPS フィルムアンテナは車載機器（※1）および各アンテナ類（※2）から 50cm 以上離して設置してください。車載機器や各アンテナ類の近くに取り付けると、GPS が正常に機能せず、電波を受信しにくくなったり、誤動作を起こす可能性があります。
※1 ETC 車載器、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど
※2 TV アンテナ、ETC アンテナなど
- フィルムアンテナのフィルムやアンプの裏シートを剥がした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗や汚れなどの接触不良の原因となります。
- 他のアンテナから十分離してください。受信感度やノイズの原因となります。
- 他のフィルムアンテナとの干渉を考慮して貼り付け位置を決めてください。
- 一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しはできません。
- 必ず、アンテナケーブルおよびフィルムアンテナを仮留めし、アンテナケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- ガラス面が結露したり気温が低いときは貼りつかなくなります。湿度が高いときはエアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライバーなどで貼り付け部分を暖めて、結露しないことを確認してから貼り付けてください。
- フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。

GPS一体型フィルムアンテナ設置方法 (つづき)

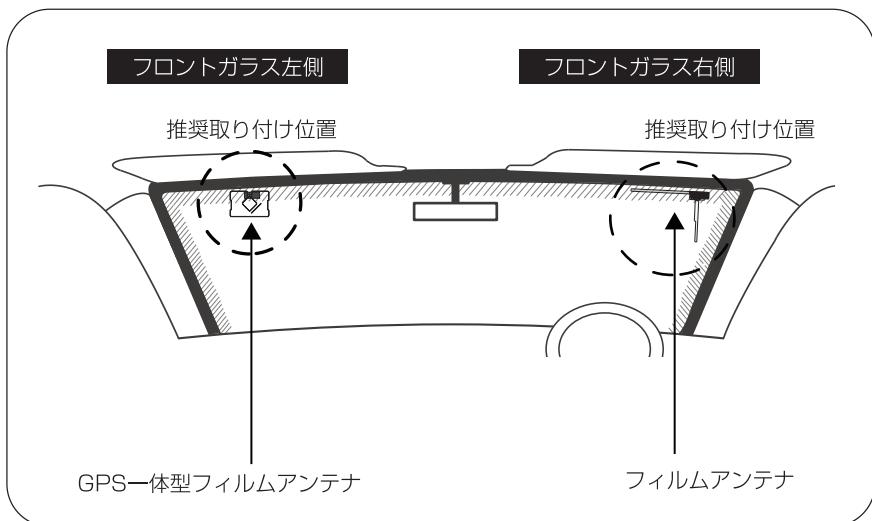
次のようなところでは映像が受信しにくいまたは受信できない場合があります

- ビルとビルの間を走行または停車している場合
- 上空を飛行機または電車が近くを通過している場合
- 送電線の付近を走行している場合
- テレビ局の電波塔から遠いところを走行している場合
- 山かげや木立の陰に入り走行している場合
- トンネル内や鉄橋を走行している場合
- 地下や高架下等を走行または停車している場合
- ラジオ、アマチュア無線/業務用無線の送信アンテナの近くを走行、または自ら発信しているとき
- 車両搭載機器（※）が作動している場合、ノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。
※電動ドアミラー/パワーウィンドウ/エアコン/HIDランプ/電動カーテン/電動サンルーフ/ドライブレコーダー/レーダー探知機/車載用モニターなど

貼り付け位置について

メモ

- ・アンテナは点検シール、検査標章などに重ねないでください。
- ・受信感度低下を防ぐために、他のアンテナやETC受光部から離して貼り付けてください。
- ・アンテナの給電部及びアンプ部は、セラミックラインまたは内張りに重ならないように、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。



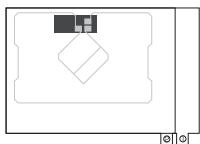
フィルムアンテナの構成

セット部品一覧

本機はGPS一体型フィルムアンテナとフィルムアンテナがそれぞれ一つ付属しています。

GPS一体型フィルムアンテナ×1

フィルムアンテナ

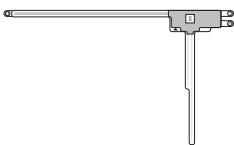


アンプホルダー



フィルムアンテナ×1

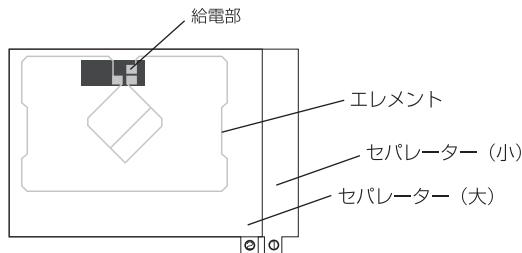
フィルムアンテナ



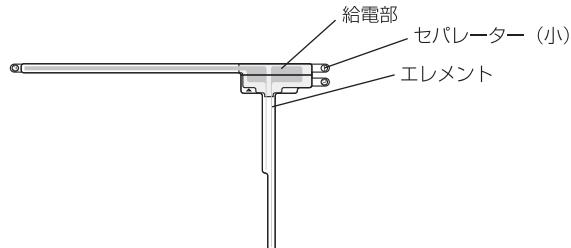
アンプホルダー

フィルムアンテナ構造

<GPS一体型フィルムアンテナ>



<フィルムアンテナ>



フィルムアンテナの貼り付け位置について（つづき）

貼付許容範囲

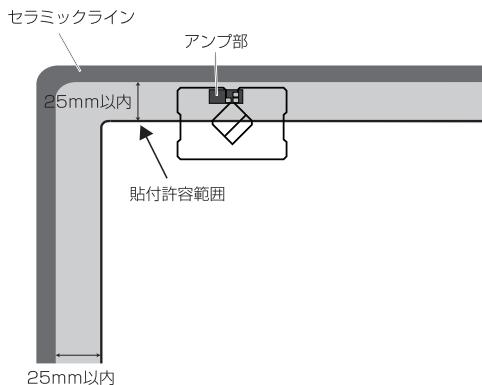
△注意

- 運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「アンプ貼付許容範囲」および「エレメント貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると、道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。
- 正しく取り付けを行わないと、GPS受信や地上デジタルテレビの受信に影響が出ます。

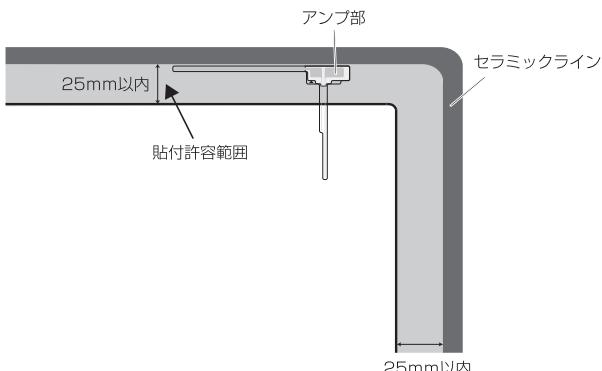
アンプ貼付許容範囲

GPS一体型フィルムアンテナは、ウィンドウの黒い縁（セラミックライン）上には貼り付けないでください。

GPS一体型フィルムアンテナ



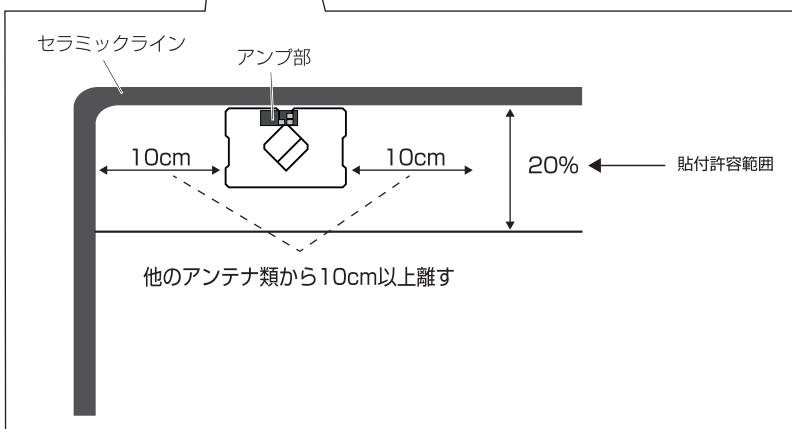
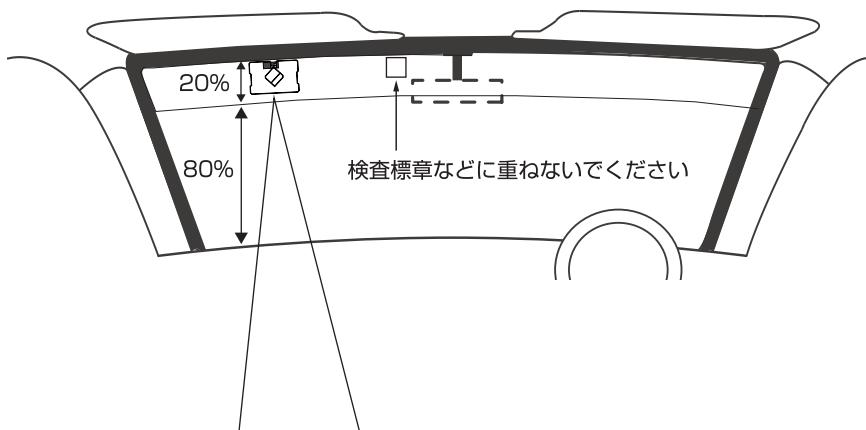
フィルムアンテナ



フィルムアンテナの貼り付け位置について（つづき）

エレメント貼付許容範囲

- エレメント下端（透明部分含む）が、ガラスの開口部の実長の20%以内に納まるよう貼り付けてください。
- フロントガラスのウィンドウの黒い縁（セラミックライン）より10cm離してください。
- 他のアンテナより10cm以上離してください。



GPS一体型フィルムアンテナを貼り付ける

GPS一体型フィルムアンテナの貼り付け方

必ずお守りください

GPS一体型フィルムアンテナの貼り付け作業をする場合、電源がONになっている本体に接続した状態では作業をしないで下さい。通電状態でフィルムアンテナの貼り付け作業を行うと、電気的ショートが発生し、アンテナが故障します。

作業する場合は、接続コネクタが本体と接続されていない状態であるかを確認してください。

手順1)

フィルムに仮位置を決めます。

手順2)

車内の内張などを取り外します。

手順3)

ケーブルを引回す仮位置を決めます。

手順4)

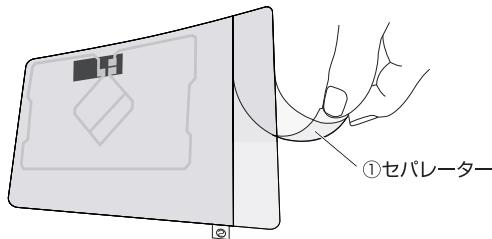
フロントウィンドウの内側の汚れや油などを取り除きます。

手順5)

フィルムアンテナを貼り付ける場所を十分に乾燥させます。

手順6)

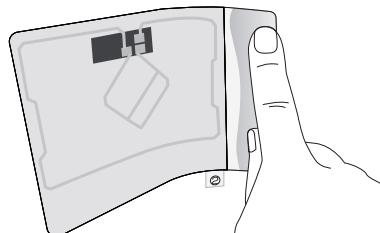
フィルムアンテナ背面テープのつまみ①部分をもってセパレーターをはがします。



手順7)

フィルムアンテナ背面テープのつまみ②部分をもってセパレーターを半分はがします。
エレメントがセパレーター②と一緒ににはがれてしまう場合は、セパレーター②を元に戻して保護フィルム（粘着がある面）に貼り付くよう強く押し付けてください。

その後、仮位置で決めた場所に、手順6ではがした面をガラス面に貼り付け、貼付位置を決めます。

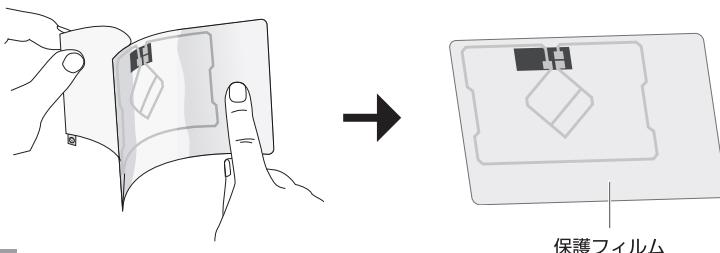


GPS一体型フィルムアンテナを貼り付ける（つづき）

GPS一体型フィルムアンテナの貼り付け方

手順8)

フィルムアンテナ全体を指でなぞるようにして、保護フィルムと一緒にフロントウィンドウに貼り付け、密着させてください（黒いラインが窓側です）。

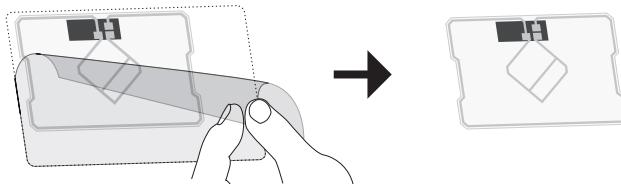


手順9)

保護フィルムをゆっくりとはがします。

※エレメント部分がガラス面に張り付いていることを確認しながら、はがれないように慎重に作業してください

※保護フィルムをはがした後、アンプを取り付けるまでエレメントの給電端子貼付部には触れないでください。



手順10)

粘着剤の強度を安定させるために、エレメントをフロントガラスに貼り付けた後は、約20分間放置してください。

放置時間を守らずに次の手順へ進むと、使用中にエレメントがはがれる原因となる場合があります。

△注意

- エレメント部は細いため、無理に引っ張ったりしないでください。切れる場合があります。
- エレメント部分がねじれないように、ガラス面にゆっくりと貼り付けてください
- フィルムアンテナの貼り直しは粘着力が弱くなるほか、アンテナ自体が破損する恐れがあるため、おやめください。
- フィルムエレメントの糊面には触れないでください。粘着力が弱くなります。
- ガラス面が乾燥していること確認して作業してください。濡れているとフィルムが張り付かない恐れがあります。
- 気温が低い時やガラスが曇ってしまう場合は、粘着力の低下を防ぐため、車内ヒーター やデフロストースイッチをONにして、ウィンドウを暖めておいてください。
- エレメントの粘着力が弱いと保護フィルムを剥がす際に、エレメントがよじれたり、切れてしまう場合がありますので、ご注意ください。

アンプホルダーを給電部に貼り付ける

手順11)

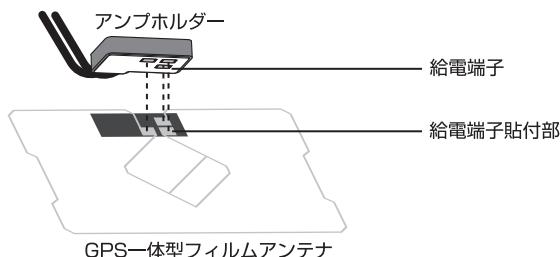
GPS一体型フィルムアンテナ側のアンプホルダー裏面の剥離紙をはがします。



手順12)

GPS一体型フィルムアンテナの給電端子部に、エレメントの給電端子貼付部にアンプホルダーを貼り付けてください。

※それぞれの給電端子部分がピッタリと合うように貼り付けてください

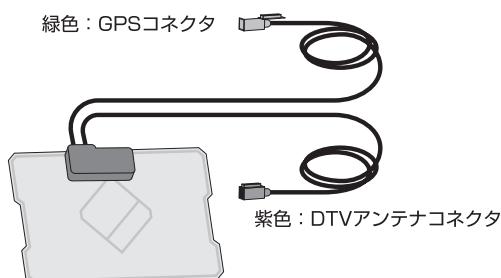


△注意

- フィルムアンテナとアンプホルダー貼り付け作業時は、本体とアンテナのコネクタが接続されていない状態で作業をしてください。本体通電中（コネクタ接続時）に本作業を行うと、アンテナ自体が破損します。

手順13)

配線処理を行い、GPSコネクタとDTVアンテナコネクタを本機裏の接続端子へ接続してください。



△注意

- フィルムアンテナの貼り直しは、粘着力が弱くなるほか、アンテナ自体が破損する恐れがあるため、おやめください。
- GPS一体型フィルムアンテナはアンプホルダーに2本の配線がありますので、間違いのないように確認した上で取り付けを行なってください。
- アンテナ線は引っ張らないでください。アンプホルダーに負荷がかかり外れる原因となることがあります。
- ピラーにエアバッグが装着されている車両では、エアバッグの妨げにならないように設置してください。

フィルムアンテナを貼り付ける

フィルムアンテナの貼り付け方

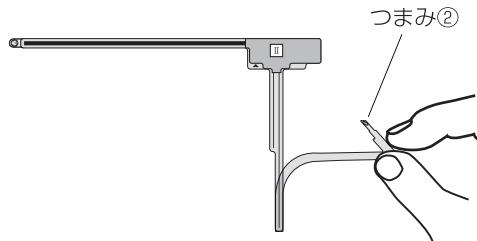
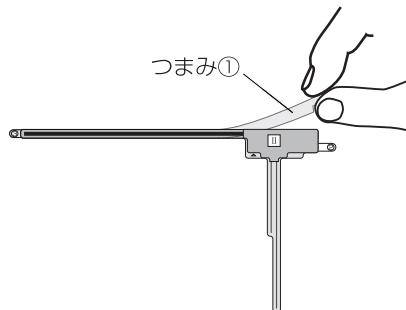
必ずお守りください

フィルムアンテナの貼り付け作業する場合、電源がONになっている本体に接続した状態では作業をしないで下さい。通電状態でフィルムアンテナの貼り付け作業を行うと、電気的ショートが発生し、アンテナが故障します。

作業する場合は、接続コネクタが本体と接続されていない状態であるかを確認してください。

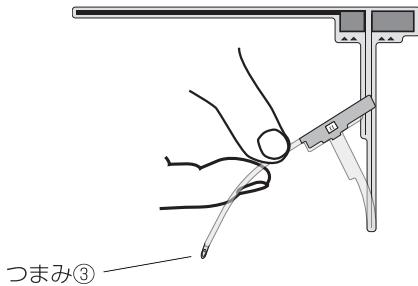
手順1)

フィルムアンテナ背面テープのつまみ部分①と②を持ってセパレーターをはがします。



手順2)

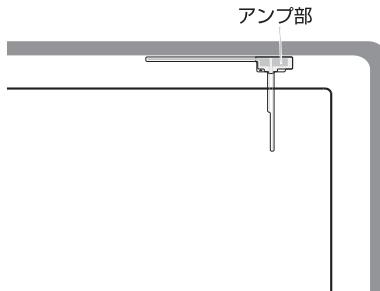
フィルムアンテナ背面テープのつまみ部分③を持ってセパレーターをはがします。



フィルムアンテナを貼り付ける（つづき）

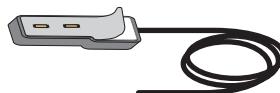
手順3)

仮位置で決めた場所に、フィルムアンテナを指でなぞりながら貼り付けます。



手順4)

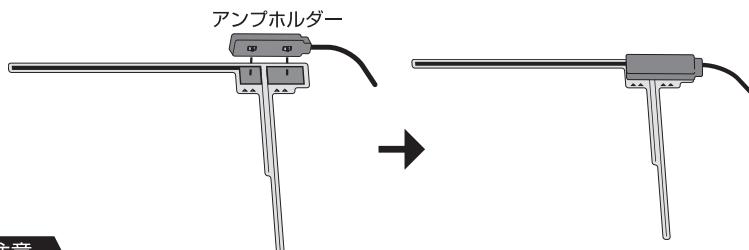
フィルムアンテナ側のアンプホルダー裏面の剥離紙をはがします。



手順5)

フィルムアンテナの給電端子部に、エレメントの給電端子貼付部にアンプホルダーを貼り付けてください。

※それぞれの給電端子部分がピッタリと合うように貼り付けてください



△ 注意

- フィルムアンテナとアンプホルダー貼り付け作業時は、本体とアンテナのコネクタが接続されていない状態で作業をしてください。本体通電中（コネクタ接続時）に本作業を行うと、アンテナ自体が破損します。

手順6)

配線処理を行い、DTVアンテナコネクタを本機裏の接続端子へ接続してください。

△ 注意

- フィルムアンテナの貼り直しは粘着力が弱くなるほか、アンテナ自体が破損する恐れがあるためおやめください。
- アンテナ線は引っ張らないでください。アンプホルダーに負荷がかかり外れる原因となることがあります。
- ピラーにエアバッグが装着されている車両では、エアバッグの妨げにならないように設置してください。

トラブルシューティング

トラブルシューティング 一般

症状	原因	こうしてください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ケーブルは正しく接続されていますか？ ● ヒューズは切れていませんか？ ● 他の機器のノイズを受けていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 配線を確認してください ● ヒューズを交換してください ● 本機から他の機器を離してください
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが汚れていませんか？ ● この機器に対応したディスクですか？ ● ディスクは正しく挿入されていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクをクリーニングしてください ● ディスクを確認してください ● ディスクの上下を確認してください
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● ミュート（消音）になっていませんか？ ● 配線は正しいですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ミュートを解除してください ● 配線を確認してください
音量が小さい	<ul style="list-style-type: none"> ● ポリュームが小さくないですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を上げてください
前または後ろのスピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 前後のバランスはOになっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオ設定の「FAD/BAL」を確認してください
左または右のスピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 左右のバランスはOになっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオ設定の「FAD/BAL」を確認してください
液晶のドット欠け		<ul style="list-style-type: none"> ● 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合がありますが、これは故障ではありません

トラブルシューティング FM/AM

症状	原因	こうしてください
電波が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナを接続していますか？ ● アンテナコントロール線は接続されていますか？ ● LOCAL/DX機能は設定していますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナを接続してください ● アンテナコントロール線を接続してください ● 「DX」を選択してください

トラブルシューティング DVD/USB

症状	原因	こうしてください
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクメインメニュー画面ではないですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● チャプターを選択してください
走行規制画面になる	<ul style="list-style-type: none"> ● パーキング線は接続されていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● パーキング線の接続を確認してください
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● ポリュームが小さくないですか？ ● ミュート（消音）になっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ポリュームを上げてください ● ミュートを解除してください
言語と字幕を変更できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクに2種類以上の言語/字幕が入っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数言語/字幕対応のディスクをご使用ください
ディスク再生中、ノイズが大きい、回転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクに傷や曲がりはないですか？ ● ディスクが汚れてないですか？ ● 本機に対応したディスクですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの確認、交換をしてください
音楽ファイルや映像ファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーマットは正しいですか？ ● PCなどの他の機器で再生できますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 対応フォーマットを確認してください
メディア再生中、順番が異なる	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイル名の半角、全角、数字は正しいですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイル名を確認してください

トラブルシューティング（つづき）

トラブルシューティング テレビ

症状	原因	こうしてください
テレビが映らない テレビの映りが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナを接続していますか？ ● アンテナ端子と本体を接続していますか？ ● チャンネルスキャンしていますか？ ● アンテナの貼り付け位置は正しいですか？ ● アンテナと端子はしっかりと接続されていますか？ ● 電波の悪い場所を歩行していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナを接続してください ● アンテナ端子を本体と接続してください ● チャンネルスキャンをしてください ● 正しい位置に貼り付けてください ● 接点が浮かないように取り付けてください ● 場所や天気、方向により感度は変化します
受信に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れた時やチャンネルを切り替えた時ではありますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れた時や、チャンネルを変えた時には、データ取得のため映像を表示するまで時間がかかります
画面にブロックノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 電車、高架線、ネオンサインなどから電波の影響を受けていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波の受けない場所まで移動してください

トラブルシューティング Bluetooth

症状	原因	こうしてください
Bluetooth対応デバイス後に音質が悪くなった	<ul style="list-style-type: none"> ● Bluetooth通信の状態は良好ですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● デバイスの場所を移動してください
ペアリングできない	<ul style="list-style-type: none"> ● デバイスが本機に必要なプロファイルに対応していますか？ ● デバイスのBluetooth機能は有効になっていますか？ ● 本機のBluetooth機能はオンになっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のデバイスで接続状態を確認してください ● デバイスのBluetooth機能をオンにしてください ● 本機のBluetooth機能をオンにしてください

メモ

- ・ Bluetoothは小電力で通信するシステムのため、外部からの影響を受けやすくなります。
- ・ 通信状態が悪い場合、スキャンとペアリングを繰り返すと状況が改善することがあります。

トラブルシューティング ナビゲーション

症状	原因	こうしてください
GPSを受信しない	<ul style="list-style-type: none"> ● GPSアンテナと本体を接続していますか？ ● GPSアンテナ周辺に電波を発する機器が置かれていないですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナを本体と接続してください ● 機器を本体から離してください
音声案内出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● フェリーなどで長距離を移動しましたか？ ● GPSは受信していますか？ ● ポリュームが小さくないですか？ ● 音量指定は正しいですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● しばらく走行すると元に戻ります ● GPS状態を確認してください ● ナビガイドのポリュームを確認してください ● ナビの「ルート案内設定」→「ルート案内音」→「音声」になっているか確認してください
ルート検索ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● GPSは受信していますか？ ● 検索先の住所は正しいですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● GPS受信状態を確認してください ● 本機に登録されていない住所の可能性があります

メモ

ナビゲーションの操作方法については別冊のナビゲーション取扱説明書を参照してください。

本機で使用できるメディアとフォーマット

再生できるディスクについて

CDやDVDなどのディスクを使う場合は、以下の内容をよく確認して、本機で再生できるディスクをご使用ください。

対応ディスク

- 本機は、以下のディスクに対応しています。
 - ・ CD-DA
 - ・ CD-ROM
 - ・ CD-R/RW
 - ・ DVD-VIDEO
 - ・ DVD-ROM
 - ・ DVD-R/RW
- CPRM（著作権保護技術）再生に対応していますが、再生までに時間がかかる場合があります。
- 本機は、NTSC（日本のテレビ方式）に適合しています。ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- DVD オーディオディスクは対応していません。
- DVD ディスクにより、一部の機能（メニュー や アングル切替等）がご使用になれない場合があります。
- DVD-R/RW (DL) で記録されたディスクに対応していますが、一部のディスクやライティング方法により、再生できない場合があります。
- DVD-R/RW ディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード /VR モード）で記録され、ファイナライズされたものに限り再生できます。
- DVD-R/RW ディスクに音楽ファイルが収録されたものに限り再生できます。動画ファイルが収録されている場合は、再生することはできません。
- VR モードで書き込まれたディスクは、ビデオモードとして再生しますが、VR モードでの再生には対応していません。ただし、VR 方式で書き込まれている場合であっても、書き込んだライティングソフトやハードディスクレコーダーにより、再生できない場合があります。
- CD-TEXT は、テキスト情報が表示されません。
- コピーガード機能付き CD は正式な CD 規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用 CD レコーダーで録音したもの以外の CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RW や CPRM ディスクはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないディスクは、再生できない場合があります。
- DDCD や DualDisc、ハイビジョン画質（AVCHD/AVCREC 規格）で記録されたディスクは再生できません。また、ディスクの取り出しができなくなる場合があるので、これらのディスクは挿入しないでください。
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- ディスクに傷や汚れ、露などがある場合は、再生できない場合があります。
- コンピューターで記録したディスクは、正しいフォーマットで記録された物は再生できますが、アプリケーションソフトやライティングソフト、書き込み設定、環境等により再生できない場合があります。
- 8cm ディスクは対応していません。また、ディスクの取り出しができなくなる場合があるため、絶対に挿入しないでください。
- ディスクに MUSIC ファイルと VIDEO ファイルが混在している場合は、正常に再生できません。再生ができた場合であっても、動作保証外となり、画面表示や動作等が正しく行われない場合があります。また、対応しているデータ以外のデータ（たとえば、テキストファイルなど）が混在している場合も同様に、期待した動作にならない場合があります。
- 読み込めないディスクを挿入した場合、自動的に排出される場合があります。
- ディスクを短時間に頻繁に挿入 / 排出した場合、正しく再生されない場合があります。その場合、時間をおいてから再度ディスクを入れ直すまたは電源の入れ直しをしてください。

本機で使用できるメディアとフォーマット（つづき）

再生できるファイル、メディアについて

本機では、下記の音楽ファイルおよび映像ファイルを再生できます。

	コーデック	拡張子	CD-R CD-RW	DVD-R DVD-RW	USBメモリ
音楽	MP3	.mp3	○	○	○
	WAV	.wav	-	-	○
映像	AVI	.avi	-	-	○
	MP4	.mp4	-	-	○

△ 注意

- ノイズや故障の原因となるため、フォーマットの異なるファイルに上記の拡張子を付与しないでください。
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは再生できません。
- トラック間にブランクのないディスクをMP3ファイルとしてCD-R/RW/CD-ROMに記録して再生する場合、曲間が音飛びしたように聞こえる場合があります。
- 音声および映像コーデックの組み合わせによって正しく再生できない場合があります。
- 対応していないディスクやブランドディスク、対応していない拡張子ファイルが書き込まれているディスクの場合、ローディング画面のままとなる場合やディスクが自動的に排出され場合があります。
- ビットレート、サンプリングレート、フレームレートの組み合わせによっては正しく再生できない場合があります。
- ファイルにタグ情報が書き込まれている場合であっても「Unknown」表示または空欄の場合があります。
- ファイルのエンコードおよびライティングソフトにより、正しく再生および情報表示できない場合があります。
- 書き込んだ文字コード情報によって、表示内容が正しく表示されない場合があります。
※本機はUnicode対応となります。
- 一つのMP3ファイルの中に異なるバージョンのID3タグ情報がある場合、v2を優先します。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- 画像データが格納されているファイルを再生する場合、画像データは表示されません。また、再生するまでに時間がかかる場合があります。
- フォルダやファイルの表示順序は、エンコードしたパソコンやアプリケーションにより、期待したものとは異なる場合があります。
- ファイルのデータサイズにより、再生時の動作が遅延する場合があります。
- サンプリングレートやビットレート、量子化ビット数等により、拡張子が正しくても、全てのファイルが再生できるものではありません。
- プロファイルや対応解像度、フレームレート、ビットレート等により、拡張子が正しくても、全てのファイルが再生できるものではありません。
- USBメモリは、4GB～32GBまでおよびFAT16、FAT32、NTFSのフォーマットに対応しています。
- USBメモリは全てのメーカーを保証しているわけではないため、認識しない場合があります。その場合は、USBメモリを交換してください。
- USBメモリの過電流が発生した場合、USBソースがOFFとなる場合があります。
- USBメモリを本機に接続すると、USBメモリ内に「LOST.DIR」というフォルダが自動的に生成されます。これは、システム上の働きであり、故障ではありません。「LOST.DIR」をそのまま残した状態でも使用することができます。
- 映像ファイルの対応解像度およびフレームレートは、1280×720、30fpsまでとなります。
- 非対応の解像度やフレームレートでファイル再生させると、本機の再生動作が不安定となり、期待した動作にならない場合があります。
- 解像度やフレームレートが対応しているファイルであっても、ファイルサイズやエンコード内容によっては正しく再生されない場合があります。
- 長時間のファイルは正しく再生されない場合があります。
- 映像ファイルが正しく再生されない場合、解像度のサイズを下げる、フレームレートを下げる、コーデックの組み合わせを見直すことで解消される場合があります。

本機で使用できるメディアとフォーマット（つづき）

HDMI入力対応フォーマットについて

HDMIの入力対応フォーマットは以下となります。

映像

対応解像度

480p/720p/1080p

音声

フォーマット	対応ビットレート	対応サンプリング周波数
LPCM	16ビット/24ビット	32kHz/44.1kHz/48kHz

△注意

- HDMI ケーブルや使用する変換アダプター等により、再生（表示、音声出力）できない場合があります。その場合は、外部機器との接続方法やケーブル、アダプターの見直しをしてください。
- 上記の対応表に記載されている内容であっても、各組み合わせにより出力できない場合があります。
- すべてのスマートフォンや HDMI 機器の接続を保証するものではありません。機器やバージョン等により、使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- スマートフォン等を接続する場合、各メーカーが指定するケーブルや変換アダプター等をご使用ください。
- HDCP コンテンツ保護基準を満たしていない場合（不正コピー防止による技術を言います）、著作権保護機能が働いているため、再生ができない場合があります。
- 動画アプリや動画ファイルにより、画面の見切れ（画面から文字などが収まりきらない等）が発生する場合があります。
- 動画アプリや動画ファイルにより動作の早い映像は、画面ノイズが発生する場合があります。
- 動画アプリや動画ファイルにより、ポップ音ノイズが発生する場合があります。
- スマートフォンの動画アプリによっては、コンテンツ保護の観点から本体へ映像もしくは音声出力ができない場合があります。
- スマートフォンの OS やアプリケーションのアップデートにより、本体へ映像もしくは音声出力ができなくなる場合があります。
- スマートフォン等を HDMI 接続している場合、スマートフォン単体による操作と異なる場合があります
- HDMI 機器を接続または切断した場合、電気的なノイズが生じる場合がありますが、故障ではありません。
- 画面にノイズが入る場合は、HDMI ケーブルや変換アダプター等に問題がある場合がありますので、別のケーブル等に取り替えてください。
- 接続時のスマートフォン操作やアプリケーションの動作等の問い合わせについては、各メーカー、製造元へお問い合わせください。

その他

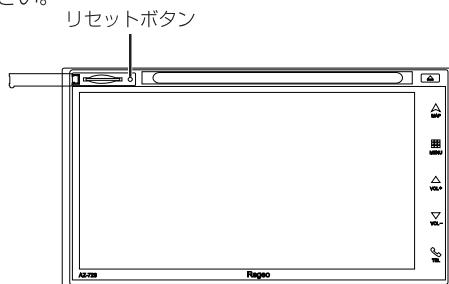
ナビゲーションについて

ナビゲーション機能については、別冊のナビゲーション取扱説明書をご参照ください。

本体リセットについて

次のような時は、本機をリセットしてください。

- ・正しく動作しない時
- ・画面が正しく表示されない時



△ 注意

- リセットボタンでリセットした場合、以下の設定メモリがクリアされ、工場出荷状態に戻ります。
 - ・ステアリングリモコン設定
 - ・オーディオ設定（EQ、FADER/BALANCE、LOUDNESS）
 - ・各ソースの設定値（プリセットやリピート設定範囲等）
 - ・VOLUME値
 - ・画質調整値
- バッテリー線（黄色）を外した場合も同様となります。

USBケーブルについて

本機は、USBケーブルが2本搭載されています。

1) USBソースのメディア専用

2) スマートフォンやBluetooth機器などの充電用（1A）

※1A以上を必要とする機器を接続すると、正しく充電できない場合があります

□ メモ

- ・USBケーブルは取り外し不可となります。
- ・カードリーダー接続では、USBソースを使用することはできません。
- ・スマートフォン等をUSB接続してもUSBソースとして使用することはできません。

バージョンアップについて

性能向上のためのソフトウェアアップデート（バージョンアップ）の提供は、弊社ホームページにて、公開いたします。

<ホームページURL>
innovativesale.co.jp/

仕様

仕様

品名	2×2フルセグチューナー内蔵7インチメモリーナビゲーション
型番	AZ-723
ディスプレイ	6.75型 TFT LEDバックライト (解像度: 800×480 WVGA)
地上デジタルTV受信周波数	470MHz～770MHz
FM/AM受信周波数	FM: 76.0MHz～99.0MHz AM: 522kHz～1629kHz
USB	MUSIC/VIDEO ※4GB～32GBまで対応 接続端子2本 (メディア用: 100mA / 充電用: 1A)
SD	—
Bluetooth	○ (TEL/AUDIO) ※Version4.0
HDMI	○ (入力) ※Type-D端子 ※Version1.4
VTR	○ (映像/音声入力) ※RCA接続
AUX	○ (音声入力) ※3.5mmミニジャック
Sub.Woofe	○ (1系統)
PREOUT	○ (L/R2系統)
バックカメラ	○ (RCA映像入力対応)
リアモニター	○ (RCA映像出力対応)
ステアリングリモコン	○
MIC	○ (Bluetooth TEL専用MIC)
使用電源	DC12V
定格電流	10A
定格消費電力	100W
スピーカー出力 (最大)	40W×4
スピーカーインピーダンス	4Ω
動作温度範囲	-10°C～+60°C
保管温度範囲	-20°C～+70°C
寸法	約178 (W) ×100 (H) ×177 (D) mm
本体重量	約2.1kg

マルチメディア

VIDEO	AVI/MP4
AUDIO	MP3/WAV
対応ディスク	CD-DA/CD-R/CD-RW/DVD-V/DVD-R/DVD-RW ※CPRM対応

付属品

電源ケーブル	1本
AVケーブル	1本
GPS一体型フィルムアンテナ	2セット (GPS一体型フィルムケーブル×1/フィルムアンテナケーブル×1)
マイク	1個
HDMIケーブル固定プレート	1枚 (取り付け用ネジ×4)
取り付け用ネジ	8本
mini B-CASカード	1枚
クリーニングクロス	1枚
配線クランパー	16個 (フィルムアンテナ用: 8個、その他: 8個)
取扱説明書 (本体)	1冊
取扱説明書 (ナビゲーション)	1冊
保証書	1枚

●本機の仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

Regeo

販売元：株式会社イノベイティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

innovativesale.co.jp/

2023.02(初版)

お問い合わせはサービスセンターへ

お電話でのお問い合わせ



048-970-5027 (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～12:00、13:00～17:00 (土日祝祭日、弊社休業日は除く)

メールでのお問い合わせ



cs@innovativesale.co.jp